

令和9年度 福知山公立大学 学生募集要項

(一般選抜・学校推薦型選抜)

自然災害や人為災害、感染症の全国的な拡大等により
選抜試験の実施が懸念される場合は、ホームページに
対応を掲載します。



福知山公立大学

The University of Fukuchiyama

地域経営学部 地域経営学科／情報学部 情報学科

福知山公立大学一般選抜・学校推薦型選抜

地域経営学部

選抜区分			募集人員	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日
一般選抜	前期日程	6教科型	34名	1/25（月）～2/3（水） 消印有効	2/25（木）	本学 大阪	3/8（月）
		3教科型	15名				
	後期日程		10名		3/12（金）	本学	3/21（日）
学校推薦型選抜			全国枠20名	11/1（日）～11/6（金） 消印有効	11/14（土）	本学	12/2（水）
			地域枠12名				
			専門学科枠3名				

情報学部

選抜区分			募集人員	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日
一般選抜	前期日程	6教科型	45名	1/25（月）～2/3（水） 消印有効	2/25（木）	本学 大阪	3/8（月）
		4教科型	20名				
	後期日程		10名		3/12（金）	本学	3/21（日）
学校推薦型選抜			全国枠20名	11/1（日）～11/6（金） 消印有効	11/15（日）	本学	12/2（水）
			地域枠10名				
			専門学科枠5名				

- 一般選抜は、「分離・分割方式（前期日程・後期日程）」で実施します。
- 一般選抜前期日程は、地域経営学部（6教科型と3教科型）、情報学部（6教科型と4教科型）からいずれか1つを選択してください。
- 情報学部一般選抜前期日程（6教科型及び4教科型）は、小論文試験又は数学試験のいずれかを試験当日に選択してください。事前申請は必要ありません。なお、これらの試験については得点調整を行うことがあります。
- 学校推薦型選抜では、本学の基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、「地域枠」（「全国枠」としての選抜対象にもなる）を設定しています。また、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。
- 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。入試過去問題を使用する際は、そのまま使用すること、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のホームページにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

本学生募集要項は、令和9年度福知山公立大学入学者選抜のうち、一般選抜及び学校推薦型選抜について掲載しています。総合型選抜、私費外国人留学生選抜、社会人選抜、編入学選抜については、各選抜区分の学生募集要項（PDFのみ）を確認してください。

学生募集要項



令和9年度

福知山公立大学 学生募集要項 一般選抜・学校推薦型選抜

-目次-

基本理念／アドミSSION・ポリシー	3
出願資格／受験上の配慮について／出願手続	5
Web出願の流れ	7
受験上の注意	11
地域経営学部	
一般選抜前期日程（6教科型）	13
一般選抜前期日程（3教科型）	15
一般選抜後期日程	17
学校推薦型選抜	19
令和8年度入試実施状況	21
情報学部	
一般選抜前期日程（6教科型）	27
一般選抜前期日程（4教科型）	29
一般選抜後期日程	31
学校推薦型選抜	33
令和8年度入試実施状況	35
合格発表／選抜の個人成績開示	42
入学手続／入学前教育	43
初年度納入金	44
奨学金及び授業料減免制度	45
よくある質問	46

選抜試験及び入学手続における個人情報の取扱い

選抜試験及び入学手続における個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」及び「公立大学法人福知山公立大学における個人情報の取扱い及び管理に関する規程」に則り、次のとおり取扱います。

- (1) 入学者選抜を通じて取得した個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（受託業者。以降同様。）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲内で、取得した個人情報の全部又は一部を提供することがあります。その場合、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、受託業者に適切な個人情報保護管理を義務付けます。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ提供します。
- (5) 選抜試験の成績については、入学者選抜方法等における調査・研究・分析、今後の検討資料の作成を行うために利用します。

基本理念

市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学

アドミッション・ポリシー

福知山公立大学は、大学全体及び各学部の入学者受入れの方針を以下のように定めています。

福知山公立大学

福知山公立大学は、地域社会について関心を持ち、地域社会の発展に貢献する意欲や地域社会と協働する意欲を持ち、主体的に学び考える力のある者、またはその可能性がある者と判断できる者を受け入れる。このため、幅広い教科・科目における基礎的な学力を有することを望む。また、社会と情報の関わりを学ぶ意欲や社会の課題について考え表現する力を有することを望む。

地域経営学部

地域経営学部地域経営学科は、地域社会に貢献する意思をもつ多様な入学者を受け入れるため、「学力の3要素」に基づいて、幅広い基礎的・基本的な知識・技能（以下「知識・技能」と表記する）、知識・技能を活用できる思考力・判断力（以下「思考力・判断力」と表記する）ならびに自らの思考や判断を他者に伝える表現力（以下「表現力」と表記する）とともに地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度（以下「協働する態度」と表記する）を適切に評価することで、入学者の選抜を行う。

このため、大学入学までに、幅広い教養と基礎学力を身につけていることを求める。そのため、特定の教科に偏ることなく学習し、すべての教科における基礎的な学力を身につけることを望む。また、社会と情報の関わりに関心を持ち、客観的に資料や文章を読む力やその理解を表す力などの基本的なコミュニケーション能力の習得も望む。

すべての選抜において「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「協働する態度」を多面的・総合的に評価する。評価においては、大学入学共通テスト、個別学力検査、志願者本人が提出する資料、調査書、面接、小論文、プレゼンテーション等を各々の選抜が重視する要素に従い、適切に組み合わせて利用する。一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜のそれぞれにおいて重視する学力の要素は、下記の表に示す通りである。

学力の3要素		知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度
一般選抜 前期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査※	○	○	○	
	調査書	○			○
一般選抜 後期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査※	○	○	○	
	調査書	○			○
学校推薦型 選抜	出願書類 (調査書・推薦書・自己アピール書)	○			○
	面接		○	○	○
	小論文	○	○	○	
総合型選抜 Ⅰ	出願書類 (調査書・自己推薦書)	○	○		○
	面接			○	○
	プレゼンテーション	○	○		

※「個別学力検査」は、一般選抜前期日程及び後期日程ともに「小論文」試験を実施する。

他の入学者選抜については、別途定める。

情報学部

情報学部情報学科は、地域社会に貢献する意思をもつ多様な入学者を受け入れるため、「学力の3要素」に基づいて、数学や情報学の基礎的・基本的な知識・技能（以下「知識・技能」と表記する）、幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力（以下「思考力・判断力」と表記する）ならびに自らの思考や判断を他者に伝える表現力（以下「表現力」と表記する）とともに地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度（以下「協働する態度」と表記する）を適切に評価することで、入学者の選抜を行う。

このため、大学入学までに、数学を中心にしつつ、各教科においてもしっかりした基礎的な学力を身につけることを望む。また、社会に貢献する情報技術のあり方について、自ら思考できる力と、その内容を表現し他者と共有できる力を身につけるための経験を積むことを望む。

すべての選抜において「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「協働する態度」を多面的・総合的に評価する。評価においては、大学入学共通テスト、個別学力検査、志願者本人が提出する資料、調査書、面接、小論文等を各々の選抜が重視する要素に従い、適切に組み合わせて利用する。一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜のそれぞれにおいて重視する学力の要素は、下記の表に示す通りである。

学力の3要素		知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度
一般選抜 前期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査※1	○	○	○	
	調査書	○			○
一般選抜 後期	大学入学共通テスト	○	○		
	個別学力検査※2	○	○	○	
	調査書	○			○
学校推薦型 選抜	出願書類 (調査書・推薦書・自己アピール書)	○			○
	面接		○	○	○
	小論文	○	○	○	
総合型選抜 Ⅰ	出願書類 (調査書・自己推薦書)	○		○	○
	面接		○	○	○
	小論文	○	○	○	
総合型選抜 Ⅱ	出願書類 (調査書・自己推薦書)	○		○	○
	面接		○	○	○
	大学入学共通テスト	○	○		

※1 「個別学力検査」は、一般選抜前期日程においては「小論文又は数学」試験を実施する。

※2 「個別学力検査」は、一般選抜後期日程においては「小論文」試験を実施する。

他の入学者選抜については、別途定める。

出願資格

1 一般選抜 前期日程・後期日程 出願資格(両学部)

次の(1)～(3)のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の(ア)～(カ)のいずれかに該当する者
 - (ア) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - (ウ) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - (エ) 文部科学大臣の指定した者
 - (オ) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者
 - (カ) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者

※出願審査について

上記(3)の(カ) 資格で出願する場合は、事前に出願資格審査を行います。出願開始日の1か月前までに入試係へお問い合わせください。

2 学校推薦型選抜の出願資格は、各選抜の詳細で確認してください。

受験上の配慮について

障害や疾病等で受験上特別な配慮を希望する志願者については、その配慮内容について本学と事前相談を行うことにしています。出願開始日の2週間程度前までに、入試係まで連絡の上、次の書類を送付してください。

(電話 0773-24-7100/メール admission@fukuchiyama.ac.jp)

- (1) 受験上の配慮申請書(本学所定の様式)
※ホームページからダウンロードしてください。
- (2) 障害や疾病等の種類・程度が分かる書類
状況を説明する書類、医師の診断書の写し、障害者手帳の写し等

受験上の配慮申請書



出願手続

1 出願方法

Web出願サイトを利用して出願内容を登録し、入学検定料を納入した上で、「志願票」をA4サイズで印刷してください。なお、同じ画面から印刷できる「宛名シート」を市販の封筒(角2サイズ)の表面に貼り、志願票と出願書類を封入の上、必ず簡易書留の速達で出願期間に郵送してください(持参不可)。出願締切日の消印有効です。

本学のWeb出願システムは出願開始日の1週間程度前から(一般選抜は出願開始の3日前から)利用できます。利用方法については7～10ページを参照してください。

Web出願サイト



2 入学検定料 17,000円

- (1) 入学検定料の納入は9ページを参照してください。
- (2) 一度納入された入学検定料は返還しません。ただし、次の場合には本人からの申請に基づき、納入済みの入学検定料のうち、全額又は一部を返還します。その際の返還時の振込手数料は受取人負担となります。申請方法については、該当者にお知らせします。
 - (ア) 入学検定料を納入したにもかかわらず、出願をしなかった場合又は出願が受理されなかった場合
・ 入学検定料の全額を返還
 - (イ) 出願受付後に本学が指定する大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合
・ 入学検定料のうち、13,000円を返還



3 出願書類の留意事項

以下の留意事項を確認の上、「宛名シート」を貼り付けた市販の封筒（角2サイズ）に必要な出願書類を封入し、送付してください。

出願書類	留意事項	本学ホームページからのダウンロード
志願票	●Web出願サイトを利用し、印刷してください。 ●顔写真データ（出願前3か月以内に撮影したもの。正面、上半身、無帽、背景無し）を事前に準備し、Web出願サイトにアップロードしてください。	Web出願サイトから印刷（モノクロ可）
調査書	●出身学校長が作成し、厳封したもの。 ●次の(ア)(イ)のいずれかに該当する場合は、調査書の代替として、各入学資格についての証明書及び調査書代替書を提出してください。 (ア)高等学校又は中等教育学校を卒業した者（見込みを含む）及び通常の課程による12年の学校教育を修了した者（見込みを含む）で、指導要録の保存年限超過、廃校、被災等により調査書を提出できない者 ・卒業証明書（卒業見込証明書）及び単位修得証明書（単位修得見込証明書）※原本 (イ)高等学校卒業程度認定試験に合格した（見込みを含む）者、大学入学資格検定に合格した者 ・合格成績証明書（合格見込成績証明書）※原本 - なお、高等学校等に在学したことのある者は、在学期間中の調査書又は単位修得証明書も提出してください。 ※いずれにも当てはまらない場合や不明な点がある場合は、事前に入試係まで問い合わせてください。	
調査書代替書	●調査書が提出できない場合は、調査書の代替として各入学資格についての証明書とともに調査書代替書を提出してください。 ●本学所定の様式により志願者本人が作成したもの。	○（PC入力可）
学校長推薦書 （学校推薦型選抜）	●本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。（調査書と同封可）	○（PC入力可）
自己アピール書 （学校推薦型選抜）	●本学所定の様式により志願者本人が作成したもの。	○（PC入力可）

4 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受け付けることができませんので、十分注意してください。
- (2) 出願後の選抜区分、志望学部、第一希望試験会場の変更は一切認めません。
- (3) 出願書類に記入した住所等に変更が生じた場合は、直ちに入試係へメールにてご連絡ください。（詳細は46ページを参照）
- (4) 一度提出された書類はいかなる理由があっても返還しません。
- (5) 一般選抜前期日程における大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。本学受験票に試験会場を記載しますので、受験票ダウンロード後に必ず確認してください。

5 併願等について

- (1) 本学の選抜において、同一の選抜区分で学部の併願はできません。
- (2) 本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学・学部※の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含む）へ出願することができません。
- (3) 一般選抜では、本学の前期日程に出願した者は他の国公立大学・学部※の前期日程に出願することができません。また、本学の後期日程に出願した者は他の国公立大学・学部※の後期日程に出願することができません。なお、前期日程及び後期日程に出願した者は公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部に出願することができます。
- (4) 本学の一般選抜前期日程と後期日程を出願する場合は、選抜区分ごとに出願登録及び入学検定料納入を行い、出願書類を準備の上、送付してください。
- (5) 他の国公立大学・学部※の入学手続を完了した者は、本学の合格者とはなりません。また、本学に合格し入学手続を完了した者も、以降に実施する本学及び他の国公立大学・学部※の選抜を受験しても合格者とはなりません。
- (6) 本学の学校推薦型選抜の合格者は、他の国公立大学・学部※を受験しても合格者とはなりません。ただし、本学へ出身学校長から「推薦入学辞退願」を提出し、許可された者を除きます。
- (7) 受験した選抜区分で不合格になった場合は、今年度実施される本学及び他の国公立大学・学部※の異なる選抜区分に出願することができます。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。

Web出願の流れ

Web出願の流れは、大きく5つのステップがあります。



STEP 1 事前準備

Web出願手続には、以下の環境、書類が必要となります。

■ インターネットの環境

パソコン	Windows : Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン)
	MacOS : Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 14.0以上 (Android Chrome最新バージョン) iOS : 17.0以上 (Safari最新バージョン)

※ブラウザの設定について

どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。

●JavaScriptを有効にする。 ●Cookieを有効にする。

※セキュリティソフトをインストールしている場合、Web出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。
セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターにお問い合わせください。

■ メールアドレス

ユーザー登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（Gmail やYahoo! メールなど）や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン（@fukuchiyama.ac.jp、@postanet.jp）を受信指定してください。

出願登録完了時、入学検定料支払い完了時、顔写真の承認・否認時および受験票ダウンロードの開始案内時に、登録したメールアドレスに確認メールが送信されます。

■ 顔写真データ（アップロード用）

鮮明な顔写真画像（JPEG、HEIC形式、30MB以下、無帽・上半身・正面向き・背景なし）

【受付できない写真例】

髪の毛が目にかかっている、マフラーやサングラスを着用している、背景がある、アプリ等で顔を加工しているなど、不適切と判断した場合は再度アップロードしていただくことがあります。

顔写真をアップロード後、システムから「Web出願サイト 顔写真承認」または「Web出願サイト 顔写真否認」のメールが届きますので、「Web出願サイト 顔写真否認」のメールが届いた場合は、Post@netにアクセスし、「出願内容一覧」内の「出願内容を確認」から、適当な写真を再度アップロードしてください。

■ 大学入学共通テスト成績請求情報

一般選抜に出願する方のみ入力が必要です。

本学では、大学入学共通テストの成績請求手続を「Web方式」で行います。大学入学共通テストの出願サイトの「ユーザID」「パスワード」「申込番号」を所定の欄に入力し、Web連携により大学入学共通テスト成績請求情報を取得してください。

STEP 2

アカウント作成、出願登録を行う

【アカウント作成】

※既にアカウントを作成済みの方は【出願登録】からご対応ください。
 ※Web出願システムは各選抜の出願開始日の1週間程度前から（一般選抜は出願開始の3日前から）利用できます。

- ① 福知山公立大学ホームページからWeb出願のバナーをクリック。
<https://www.fukuchiyama.ac.jp/admission/webentry/>
- ② Post@netのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードなど必要項目を入力して「登録」ボタンをクリック。
- ③ 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
- ④ 仮登録メールの受信から**60分以内**に、メール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。
- ⑤ ログインの際には、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。



【出願登録】「出願」ボタンをクリック後、画面の指示に従って登録してください。

出願登録前に「はじめに」をよく読んでください。

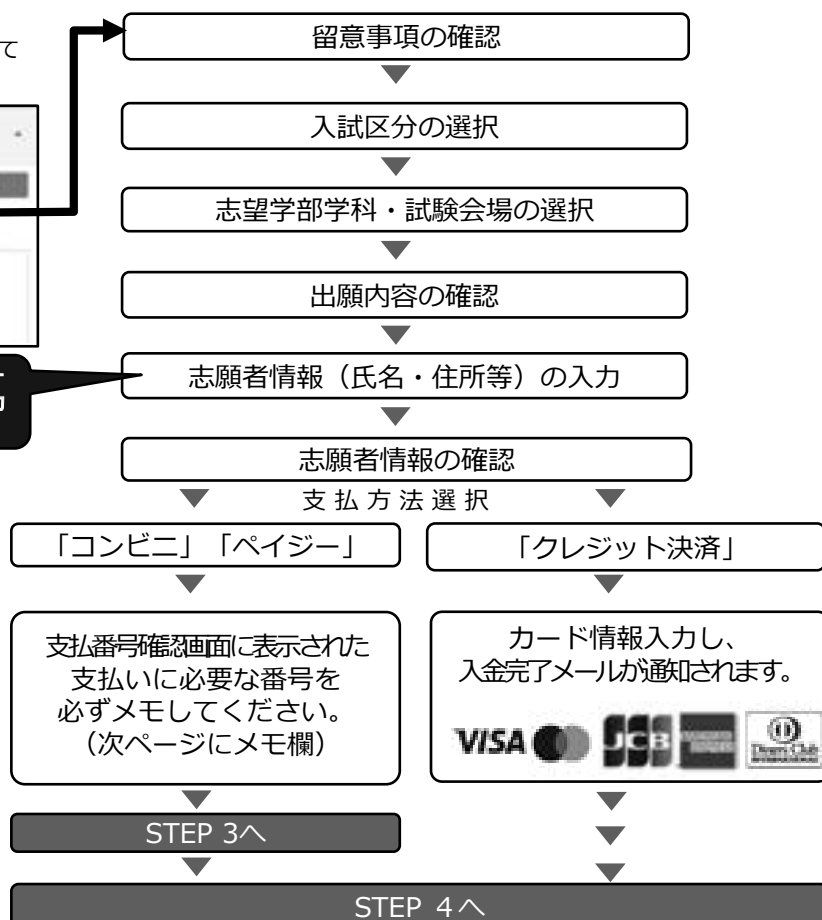
お気に入りに登録しておくと便利です。



一般選抜に出願する場合、大学入学共通テストの出願サイトの「ユーザID」、「パスワード」、「申込番号」を必ず入力しWeb連携を行ってください。

【注意】

- 志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか、十分に確認してください。志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。
- いずれの支払方法でも、手数料は一律680円です。ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。
- 支払方法「コンビニ」「ペイジー」の場合は、支払番号確認画面に**支払いに必要な番号**が表示されます。STEP 3の支払い時に必要ですので**必ずメモしてください。**



STEP 3

入学検定料を支払う (コンビニ・ペイジーを選択した場合)

注意

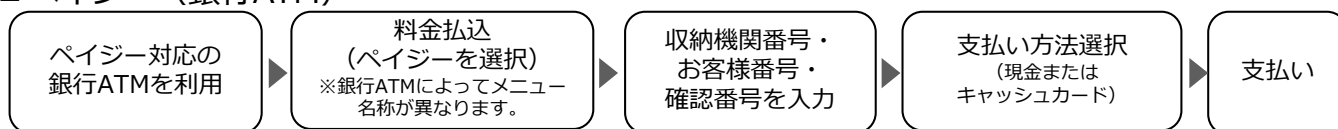
支払い期限内に、下記の通り入学検定料をお支払いください。支払い期限を過ぎますと、登録された内容での入学検定料の支払いができなくなります。
期限を過ぎた場合は、もう一度出願登録をやり直してください。

入金が完了すると入金完了メールが通知されますので、必ずご確認ください。

■コンビニ

セブン-イレブン	ローソン ミニストップ	ファミリーマート		セイコーマート
「払込票」を印刷 または Web画面に 表示された 「払込票番号」	Web画面に 表示された 「お客様番号」 「確認番号」	Web画面に表示された「バーコード」 ※スマートフォン、 タブレット限定	Web画面に 表示された 「お客様番号」 「確認番号」	Web画面に 表示された 「オンライン 決済番号」
印刷した「払込票」を 渡すまたは 「払込票番号」を伝えて レジでお支払い	 Loppi (ロッピー)		 マルチ コピー機	レジで 「インターネット支払い」 と伝える ※お客様側レジ操作 画面にて、以下操作を 行ってください。
デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー	「各種番号をお持ちの方」を選択		「代金支払い/ チャージ」 ボタンを選択	
Web画面に 表示された 「オンライン決済 番号」	「お客様番号」 を入力		「お客様番号」 を入力	「オンライン決済 番号」をハイフン を除いて入力
↓	「確認番号」 を入力		「確認番号」 を入力	確認画面で 「OK」を選択
「オンライン決済番号」 を伝えて レジでお支払い	「申込券」発券 30分以内にレジで お支払い	 表示されているバーコードをレジの スタッフに提示してください。 ※バーコードの有効期限は 表示後から10分間になります。	「申込券」発券 30分以内にレジで お支払い	レジでお支払い

■ペイジー (銀行ATM)



■ペイジー (ネットバンキング)

収納機関番号・お客様番号・確認番号を控え、各自で支払い方法を確認し入学検定料を支払ってください。

メモ欄

セイコーマート/デイリーヤマザキ/ヤマザキデイリーストアー
オンライン決済番号 (11桁)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

セブン-イレブン (振込票の印刷を推奨します)
振込票番号 (13桁)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ファミリーマート/ローソン/ミニストップ/ペイジー
お客様番号 (11桁)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

確認番号 (4~6桁)

--	--	--	--

収納機関番号 (5桁)

5	8	0	2	1
---	---	---	---	---

※収納機関番号は、ペイジー
でのお支払いの際に必要です

STEP 4

出願書類を印刷・郵送する

【書類準備】 下記手順に従って志願票、封筒貼付用宛名シートを印刷してください。

① Post@netへログインし、福知山公立大学の「出願内容一覧」より「出願内容を確認」を選択し、ページ下部にある「入学志願票ダウンロード」、「封筒貼付用宛名シートダウンロード」をクリックしてPDFファイルをダウンロードします。

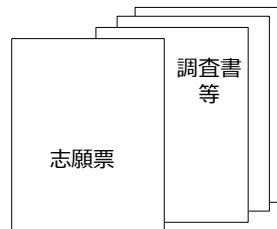
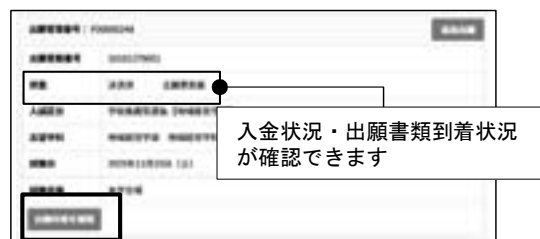
② ①のPDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。

③ 印刷した志願票と、調査書などの必要書類を同封して郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

※封筒貼付用宛名シートの出力ができない場合は、郵便番号・住所・氏名を直接記入して、必要書類を簡易書留・速達で郵送してください。

送付先
〒620-0886
京都府福知山市字堀3370
福知山公立大学 入試係 行
出願書類在中

市販の角2封筒に封筒貼付用
宛名シートを貼り付けて必要
書類を封入してください。



【注意】

STEP 1～STEP 4を、すべて期限内に完了することによって出願完了となります。

出願登録・入学検定料支払い・出願書類の郵送のいずれかが行われなかった場合は、出願が受け付けられません。

※出願の期限については、「**出願期間**」を十分に確認の上、**できるだけ余裕をもって**出願してください。

※入金状況と出願書類の到着状況は、「出願内容一覧」より“状態”で各自確認をしてください。

◆顔写真が「承認待ちです」と表示されていても、印刷（提出）が可能です。なお、顔写真の審査には1日程度時間を要します。審査の結果、顔写真が否認された場合は、再度顔写真をアップロードする必要があります。

入学検定料入金後、登録内容（住所等）に修正が生じた場合、入試係（admission@fukuchiyama.ac.jp）までご連絡ください。※メールの件名（タイトル）は「出願登録内容の修正について」としてください。
ただし、**選抜区分、志願学部等は修正できません。**

STEP 5

受験票を印刷する

【受験票準備】 下記手順に従ってデジタル受験票を印刷してください。

出願期間締切後、1週間程度で受験票がダウンロードできるようになります。

ダウンロードが可能になりましたら、「受験票ダウンロード案内メール」が届きます。

① Post@netへログインし、福知山公立大学の「出願内容一覧」より「出願内容を確認」を選択し「デジタル受験票ダウンロード」をクリックして、PDFファイルをダウンロードします。

② ①のPDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。

③ **試験当日に必ず印刷した受験票を持参してください。**

※一般選抜（前期日程・後期日程）の志願者は、大学入学共通テストの受験票も忘れずに持参してください。

※試験日の3日前までに案内メールが届かない場合は、入試係（☎0773-24-7100）までご連絡ください。

受験上の注意

1 受験票

- (1) 本学受験票はWeb出願サイトからダウンロードし、確認してください。本学受験票は出願締切後1週間程度でWeb出願サイトからダウンロードできるようになります。
- (2) 本学受験票は、試験当日までに印刷し、必ず持参してください。詳細は10ページを確認してください。また、一般選抜では「令和9年度大学入学共通テスト受験票」も必ず持参してください。
- (3) 受験票※を忘れた場合や紛失した場合は、試験開始前に係員へ申し出て「仮受験票」の交付を受けてください。
- (4) 試験当日に離席する場合は、受験票※を必ず携行してください。
- (5) 一般選抜については、本学受験票は成績開示請求の際に必要となりますので、受験後も大切に保管してください。（受験票のダウンロード期限は令和9年3月末までです。）

※一般選抜においては本学受験票と令和9年度大学入学共通テスト受験票、学校推薦型選抜においては本学受験票のこと

2 試験会場の下見

- (1) 試験会場の場所や交通所要時間等を事前に確認してください。
- (2) 試験会場の下見を行う場合は、建物内には立ち入らないようにしてください。なお、試験会場となる建物は、本学ホームページで告知します。

3 試験会場への入場

- (1) 試験当日は、各選抜区分の入室可能時間から試験会場へ入場できます。状況により、入室可能時間を早める可能性があります。
- (2) 試験室入室後、指定席着席時刻までに席につき、受験票※を机上の受験番号票の手前に置いてください。
- (3) 試験開始時刻から30分以上遅刻した場合は受験できません。また、面接試験においては遅刻は認められません。
- (4) 試験当日に交通機関の遅延、災害等やむを得ない事情により遅刻した場合は、特別措置を講ずることがあります。やむを得ない事情により遅刻する可能性がある場合は、各選抜とも指定席着席時刻までに入試係に電話連絡してください（試験当日の連絡先：090-1674-6384／090-1674-6364）。
- (5) 携帯電話等の通信機器は、指定席着席時刻までに必ず電源を切っておいてください。これらを時計として使用することは認めません。
- (6) 試験会場では、試験監督者及び係員の指示に従ってください。入退場時の混雑を避けるため、係員が誘導を行う場合もあります。

※一般選抜においては本学受験票と令和9年度大学入学共通テスト受験票、学校推薦型選抜においては本学受験票のこと

4 試験中の注意

- (1) 机の上には、受験票※、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（小型で手動式のもの）、時計（辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものを除く）以外のものを置かないでください。
- (2) 下敷、定規、コンパス、そろばん、電卓、通信機器等の使用はできません。
- (3) 時計のアラーム機能は必ず解除してください。
- (4) 試験中に試験監督者への質問がある場合や気分が悪くなった場合は、黙って挙手してください。
- (5) 試験開始後は、試験が終了するまで退室できません。
- (6) 各選抜において、指定したすべての選抜方法を受験しなかった場合は不合格となります。

※一般選抜においては本学受験票と令和9年度大学入学共通テスト受験票、学校推薦型選抜においては本学受験票のこと

5 不正行為

- (1) 次の行為を行った場合は不正行為となります。不正行為が認められた場合は、その場で受験の中止が指示され、それ以後の受験はできません。また、受験したすべての試験の成績を無効とします。
- ・ 志願票、受験票、自己アピール書、解答用紙等へ故意に虚偽の記入をすること。
 - ・ カンニング（試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案を見ること、試験の内容についての助言を第三者に求めたり得たりすることなど）をすること。
 - ・ 他の受験者に答えを教えたりカンニングを手助けすること。
 - ・ 配付された問題や解答用紙等を、その試験時間が終了する前に試験室等から持ち出すこと。
 - ・ 試験開始の指示の前に、問題を見たり解答を始めること。
 - ・ 試験時間中に、定規、コンパス、そろばん、電卓等の補助具を使用すること。
 - ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。なお、受験上の配慮を申請し本学が事前に認めた場合を除き、イヤホンの耳への装着は使用しているとみなす。
 - ・ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴム等を持っていたり、解答を続けること。
- (2) (1) 以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、(1) と同様です。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っていること。
 - ・ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ・ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
 - ・ 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ・ 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

6 その他の注意・要請事項

- (1) 学校推薦型選抜の受験者で昼食が必要な場合は各自持参の上、試験室の自席など監督者等から指示された場所ですべてください。試験当日に本学の学生食堂は利用できません。また、すべての試験が終了するまで試験会場の建物から外出することはできません。なお、一般選抜の受験者は試験会場内で食事をとることはできません。一般選抜の受験者は事前に食事を済ませてから入場してください。
- (2) 試験会場では、必要な場所以外には立ち入らないでください。
- (3) 付添者の控室はありません。受験生以外は、本学が許可した者を除き、試験会場内への入場ができません。
- (4) 試験会場への自動車・バイクによる入構はできません。ただし、本学試験会場への自動車での送迎に限り、本学の駐車場を利用できます。
- (5) 試験会場周辺でアンケート調査等があっても、本学とは一切関係がありません。
- (6) 宿泊が必要な場合は各自で手配してください。
- (7) 試験会場は換気等を行います。必要に応じて上着等を持参し温度調整してください。

7 試験当日の所持品

試験当日は以下のものが必要となりますので、忘れ物がないか必ず確認してください。

- (1) 本学受験票
- (2) 令和9年度大学入学共通テスト受験票（一般選抜のみ）
- (3) 筆記用具（黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り等）
- (4) 時計（辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものを除く）

地域経営学部 一般選抜 前期日程(6教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	2月25日(木)	3月8日(月)	3月8日(月)～ 3月15日(月) 必着

2 募集人員

地域経営学科 34名

3 出願資格

5ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書（本学所定の様式による）を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の能力・意欲・適性等を大学入学共通テスト、小論文を中心に多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (6教科6科目)	高等学校等において履修する科目より習得した基礎学力、地域経営学部で学ぶ上で必要な思考力・判断力を評価する。	1200点
小論文	現代社会の課題についての資料[文章(英文を含む)や図表等]を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用する。調査書は、高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能及び高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (6教科6科目)	○	○		
小論文	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（6教科6科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 } から1	200点
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	200点
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	200点
情報	「情報Ⅰ」	200点
合計		1200点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合もいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び令和9年度大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・11・12ページに記載の受験上の注意を必ず確認してください。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。本学受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）

難波御堂筋ホール
アクセス



地域経営学部 一般選抜 前期日程(3教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	2月25日(木)	3月8日(月)	3月8日(月)～ 3月15日(月) 必着

2 募集人員

地域経営学科 15名

3 出願資格

5ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の能力・意欲・適性等を大学入学共通テスト、小論文を中心に多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (3教科3科目)	高等学校等において履修する科目より習得した基礎学力、地域経営学部で学ぶ上で必要な思考力・判断力を評価する。	600点
小論文	現代社会の課題についての資料[文章(英文を含む)や図表等]を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用する。調査書は、高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能及び高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (3教科3科目)	○	○		
小論文	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点(3教科3科目)】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 3教科 200点 200点 200点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
数学	「数学Ⅰ，数学A」 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 } から1	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
情報	「情報Ⅰ」	
合計		

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史、公民及び理科において2科目受験した場合もいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び令和9年度大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・11・12ページに記載の受験上の注意を必ず確認してください。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。本学受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）
- 2 大阪会場（難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング）

難波御堂筋ホール
アクセス



1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	3月12日(金)	3月21日(日)	3月21日(日)～ 3月27日(土) 必着

2 募集人員

地域経営学科 10名

3 出願資格

5ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書（本学所定の様式による）を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の能力・意欲・適性等を大学入学共通テスト、小論文を中心に多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (4教科4科目)	高等学校等において履修する科目より習得した基礎学力、地域経営学部で学ぶ上で必要な思考力・判断力を評価する。	800点
小論文	現代社会の課題についての資料〔文章（英文を含む）や図表等〕を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	200点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を合否判定資料として使用する。調査書は、高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能及び高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (4教科4科目)	○	○		
小論文	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（4教科4科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 4教科 200点 200点 200点 200点 800点
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
数学	「数学Ⅰ，数学A」 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 } から1	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 } から1	
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	
情報	「情報Ⅰ」	
合計		

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・各教科で指定した科目群の中から複数の科目を受験した場合は、高得点のいずれか1科目の成績を採用します。地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合もいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び令和9年度大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・11・12ページに記載の受験上の注意を必ず確認してください。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
11月1日(日)～ 11月6日(金) 消印有効	11月14日(土)	12月2日(水)	12月2日(水)～ 12月9日(水) 必着

2 募集人員

地域経営学科 全国枠20名、地域枠12名、専門学科枠3名

※本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜において「地域枠」（「全国枠」としての選抜対象にもなる）を設定しています。また、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。

3 出願資格

1つの高等学校から推薦できる人数に上限はありません。

各枠の出願資格を有する場合は、いずれかの枠を選んで出願することができます（併願不可）。

【全国枠】

次の(1)～(4)の全てを満たす者

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者(単位制高等学校等で令和8年度の途中に卒業する者を含む。
なお、過年度生等の出願は不可とする)
- (2)合格した場合は入学することを確約できる者
- (3)本学及び本学部のアドミッション・ポリシーに合致し、特にコミュニケーション能力が優れていると学
校長が認め、推薦する者
- (4)全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.8以上の者

【地域枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ次の市町に所在する高等学校の生徒

- ・京都府：京都市右京区（ただし旧京北町に限る）、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、
京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、与謝野町
- ・兵庫県：豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、香美町、新温泉町

【専門学科枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ以下の(ア)(イ)を満たす者

- (ア)普通科、理数科等以外の専門教育を主とする学科及び総合学科出身の者
- (イ)次のいずれかの資格を取得している者

- ・日本商工会議所主催 簿記検定試験2級以上
- ・全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験1級
- ・独立行政法人情報処理推進機構主催の情報処理技術者試験のいずれかの試験区分（ITパスポート試験を含む）

4 出願書類

- (1)志願票
- (2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）
- (3)学校長推薦書（本学所定の様式により厳封したもの）
- (4)自己アピール書（本学所定の様式による）
- (5)専門学科枠で出願する者は(イ)を証明するもの（複写可）

※（1）はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。

※（3）（4）は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

学校推薦型選抜では、本学のアドミッション・ポリシーに基づいて入学志願者の知識・技能、思考力・判断力、表現力等を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	高等学校等において履修する科目より習得した知識・技能と、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度を評価する。	100点
面接 (個別)	社会と情報の関わりや地域社会が抱える諸問題に関心を寄せ、その現状や対応状況について理解し考察できる思考力・判断力と、コミュニケーションにおいて発言の意図を理解し、それに応じてわかりやすく考えを伝える表現力を評価する。また、さらに本学の地域協働型教育において地域社会が抱える問題に向き合い貢献しようとする意欲を持ち、地域社会において多様な人々と主体性を持ち協働する態度を評価する。	
小論文	現代社会の課題についての資料 [文章 (英文を含む) や図表等] を基にした出題より、文章や図表等を理解するために必要な知識・技能と、分析し考察する思考力・判断力、自らの考えをわかりやすく伝える表現力を評価する。	100点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	○			○
面接		○	○	○
小論文	○	○	○	

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【出願書類】

- 自己アピール書は指定用紙の枠内に記入してください。それぞれの枠の大きさは、記入したい内容に応じて、適宜、調整して構いません。なお、設定された枠は、必要に応じて次ページにわたって配置することも可能です。ただし、2ページを上限とします。
- 自己アピール書に、記載した内容に関する成果物を用いたい場合は、必要に応じて図や表、写真などで自己アピール書の指定用紙の枠内に収めてください。添付資料は受理しません。万が一、添付した場合でも、評価対象とはならず、返却もできません。

【面接】

- 10分程度の個別面接を行います。

【小論文】

- 90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分	11時30分～12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- 受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- 着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- 小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- 面接試験は、12時45分までに指定席に着席をしていない場合は受験を認めません。
- 11・12ページに記載の受験上の注意を必ず確認してください。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

地域経営学部 令和8年度入試実施状況

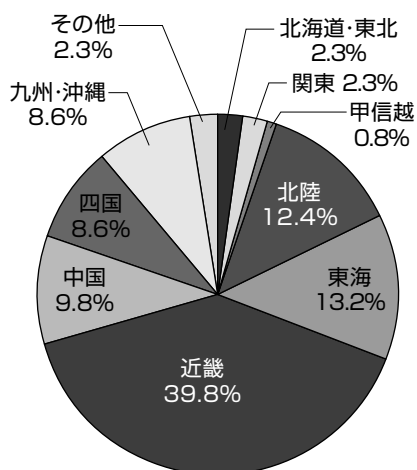
①志願者数・受験者数・合格者数・入学者数

学部・学科	種別	選抜区分	募集人員	志願者	第1次選考 合格者※	受験者	合格者	入学者
地域経営学部・地域経営学科	総合	総合型選抜Ⅰ	6	49	20	20	7	7
		小計	6	49	20	20	7	7
	推薦	全国枠	20	45	—	44	20	20
		地域枠	12	12	—	12	12	12
		専門学科枠	3	4	—	4	3	3
		小計	35	61	—	60	35	35
	一般	前期日程(6教科型)	34	46	—	40	38	24
		前期日程(3教科型)	15	64	—	57	48	33
		後期日程	10	40	—	11	10	7
		小計	59	150	—	108	96	64
		社会人	若干名	0	—	0	0	0
		私費外国人留学生	若干名	6	—	5	0	0
		合計	100	266	20	193	138	106

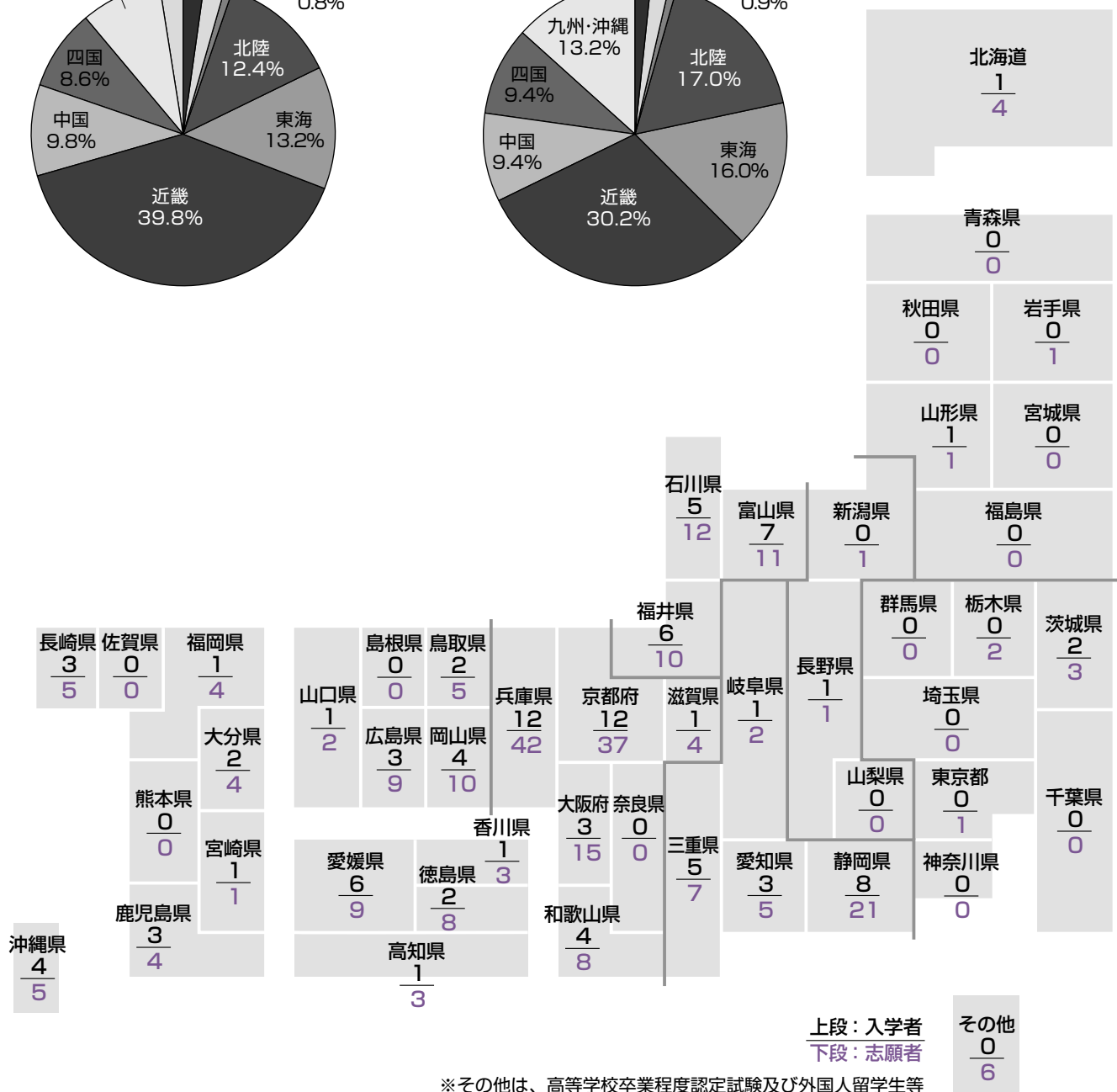
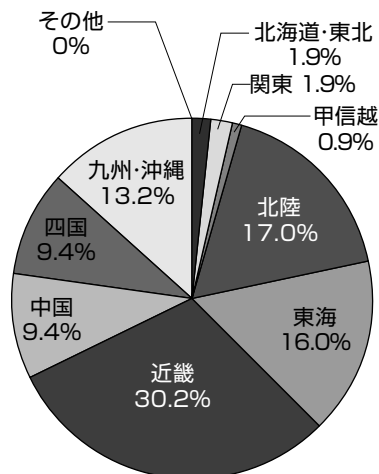
※第1次選考は地域経営学部 総合型選抜Ⅰのみ実施

②地区別（都道府県）志願・入学状況

■地区別志願状況（266人）



■地区別入学状況（106人）



※その他は、高等学校卒業程度認定試験及び外国人留学生等

③志願者出身高等学校一覧

北海道	美方	京都府	兵庫県	米子西	高知県
大樹	若狭	山城	星陵	岡山県	高知追手前
登別明日	金津	鴨沂	北須磨	岡山南	高知商業
岩手県	長野県	桂	神戸商業	倉敷青陵	高知国際
水沢	上田	桃山	芦屋（県立）	西大寺	福岡県
山形県	岐阜県	乙訓	伊丹北	総社	宗像
東桜学館	岐阜商業（県立）	園部	川西緑台	高梁	筑紫丘
茨城県	静岡県	須知	川西明峰	瀬戸	九州国際大学付属
太田第一	三島北	福知山	有馬	林野	福智
水城	静岡城北	東舞鶴	柏原	明誠学院	長崎県
ルネサンス	静岡東	西舞鶴	明石南	広島県	佐世保南
栃木県	藤枝東	海洋	社	廿日市	佐世保北
茂木	掛川東	峰山	三木	五日市	長崎北陽台
大田原	浜松南	日吉ヶ丘	千種	三次	西陵
東京都	浜名	紫野	姫路商業	呉	大分県
佼成学園女子	静岡市立	鳥羽	太子	広島国際学院	高田
新潟県	伊豆中央	菟道	豊岡	山口県	大分鶴崎
北越	清流館	開建	生野	下関南	臼杵
富山県	伊豆伊東	京都共栄学園	村岡	慶進	宮崎県
入善	東海大学付属静岡翔洋	福知山成美	出石	徳島県	鵬翔
魚津	静岡北	日星	和田山	城南	鹿児島県
富山北部	島田樟誠	京都成章	東播磨	城北	伊集院
富山南	浜松啓陽	大阪府	伊丹（市立）	富岡東	出水
八尾	愛知県	箕面	三田西陵	池田	加治木
氷見	安城	清水谷	神戸鈴蘭台	徳島市立	沖縄県
大門	西尾東	山田	尼崎双星	徳島北	糸満
南砺福野	桜花学園	槻の木	神戸市立工業高専	海部	知念
石川	三重県	水都国際	神戸龍谷	香川県	首里
鶴来	四日市西	桜和	夙川	高松東	沖縄尚学
金沢桜丘	津西	履正社	三田学園	高松	
金沢西	相可	桃山学院	東洋大学附属姫路	高松南	
羽咋	久居	浪速	和歌山県	愛媛県	
鹿西	名張青峰	高槻	橋本	小松	
小松明峰	津田学園	香里ヌヴェール学院	田辺	松山南	
野々市明倫	滋賀県	近畿大学附属	新宮	大洲	
能登	水口東	常翔啓光学園	近畿大学附属和歌山	長浜	
福井県	米原	追手門学院	鳥取県	宇和島東	
高志	近江	大阪桐蔭	鳥取東	宇和島南	
鯖江	光泉カトリック		倉吉西		

④小論文試験の全体講評

2026年度 地域経営学部 小論文試験についての全体講評

1. 出題の意図

出題の意図は、現代社会の課題をテーマにし、アドミッション・ポリシーに則して、教養と基礎学力に加え、資料や文章を読む力やその理解を表す力などの基本的なコミュニケーション能力を問うことにありました。現代社会の課題は広範で、一つの教科・科目には収まらず、複数の教科・科目が重なり合って多かれ少なかれ関係していると言えます。

2. 採点・評価のポイント

出題は昨年度と同じく大問2題、出題形式は論述式でした。

問題1

問題1は英文を読む力と日本語の文章を書く力の両方を問う問題でした。英文の要約は一つのセンテンスあるいはパラグラフを直訳することではありません。また、英文に書かれていないことや自分が考えていることを書くものでもありません。要約は、英文が何を主張しているのかを把握し、その主張を中心にして英文全体の内容が含まれるように書かなければいけません。そして、もっとも大切なこととして、要約は日本語の文章として完結していなければいけません。解答用紙に書いた要約文を必ず読み直してください。

解答には字数の上限が課されていますから、書く内容を適切に取捨選択しなければいけません。たとえば、事例は主張を補強するために用いられます。限られた字数で書かなければいけない要約ですから、事例ではなく、筆者の主張を書くことが評価のポイントになります。

文章を「要約する」とはどのようなことなのかを考えながら学習してください。英文に限らず、新聞の社説などを読んで要約するという学習は文章を書く力だけでなく、読む力も養成します。

問題2

問題2は図表が何を示しているのかを簡潔に説明できる力と、図表から何が読み取れるのかを論理的に記述できる力を問う問題でした。何かを伝えようとするとき、図表を用いることがあります。図表が有力な手段になるからです。しかし、図表は見ればわかる、ということではなく、図表をどのように見るのかについて、簡潔な文章に表すことが求められます。

図表を見てわかることは結果です。それが「読み取れること」で問われていることです。説明が求められている解答では、推測（と思う）や考察（と考える）の記述は適切ではありません。また、グラフの説明として、縦軸や横軸が何で、何がどんな色で、どのように描かれているかなどは、必要になるときがありますが、ここでの解答には必要ありません。必要のない記述に文字数を使わないようにしましょう。

結果には原因があります。原因は図表から推測することになります。そこでは、複数の教科・科目から得ている知識を駆使し、論理を展開することが求められます。推測される原因は一つではありませんから、正解もまた一つではありません。

評価のポイントは、問題が何を求めているのか、結果の説明なのか、原因の推測なのか、問題文を注意深く読んで、題意に則して簡潔に解答できているかどうかです。

福知山公立大学入試委員会
2026年3月31日

⑤学校推薦型選抜 小論文試験問題

問題 1 次の英文の要約を 200 字以内の日本語で書きなさい。

Bookstores are cultural centers for local communities that connect people with books. Their existence is also deeply connected to people's education and character building. It is necessary to halt the decline in the number of bookstores and enhance momentum to protect them as a foundation of knowledge.

The government has announced a plan to vitalize [1] bookstores. To reduce the high rate of unsold newly released books and magazines returned to publishers, which is said to be one of the causes of rising book distribution costs, the government will hold study sessions together with people related to the industry and aim to improve the operational efficiency of bookstores through the widespread use of IC tags.

In addition, the government, across its ministries and agencies, intends to support bookstores through such means as strengthening efforts to lower fees for cashless payments, which are a heavy burden on bookstores, and encouraging people to open new stores.

The gross profit margin rate for bookstores remains at around 20%. Due to the delay in digitalization, some bookstores are unable to manage sales and inventory the way they want to. Although the efforts of the bookstores themselves, of course, are necessary, the hope is that the government and the industry will deepen cooperation and do their utmost to work to resolve these issues.

The number of bookstores is rapidly decreasing in many parts of the country, and the number of municipalities without a single bookstore has increased to more than a quarter of the total. There are many municipalities without bookstores in rural areas, and in some cases there are no libraries in those locations either. This is a serious problem that could lead to a "knowledge gap" with urban areas.

In some foreign countries, central governments are actively involved in promoting bookstores. France has introduced a "Culture Pass" system for young people to support the purchase of books and other cultural activities. Germany has established a system to award small bookstores that have special characteristics, among other efforts.

It cannot be said that the measures taken by the government in Japan to protect print culture and the reading environment have been sufficient so far.

In February this year, The Yomiuri Shimbun and Kodansha Ltd. announced a joint proposal aimed at promoting bookstores. The government's plan is in line with the content of this proposal. It is hoped that all parties involved will share a sense of urgency and work to enhance the vitality of bookstores so they will not disappear.

Unlike online bookstores, bookstores in towns offer the chance to encounter an unexpected book. While browsing the shelves of a bookstore in a field in which you have little interest, you may become curious about a book and pick it up, which could later change your life.

Bookstores also play a major role as a distribution center for the "content industry," which includes manga and anime. Japanese manga and anime are highly regarded overseas, and many overseas fans come to Japan to make "pilgrimages" [2] to places where stories and scenes are set. The decline in the number of bookstores could lead to the loss of the function of bringing new works to the world.

The growing trend of people moving away from reading books is serious. According to a survey by the Cultural Affairs Agency, 60% of respondents said they do not read even one book a month. It is also necessary to devise ways to increase the number of people who read books, such as by providing opportunities for people to become familiar with books with the help of picture book specialists and instructors who guide people in reading aloud.

(出典：Editorial: Vitalization of Bookstores: Expand Opportunities for People to Encounter Books, The Japan News, June 11, 2025, 原文のまま)

[1] vitalize：活性化させる

[2] pilgrimages：聖地巡礼

- 1 -

- 2 -

問題 2 次の二つの図は、令和 6 年版『情報通信白書』からの引用である。これらの図に基づいて、以下の設問に答えなさい。

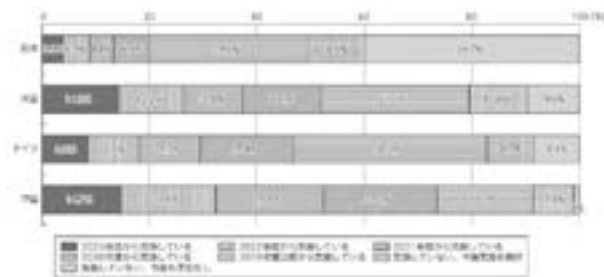


図 1 デジタル化の取組状況（各国比較）

※ デジタル化に取り組んでいる企業を抽出するためのスクリーニング調査の結果に基づく。

(出典) 総務省 (2024)「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究」

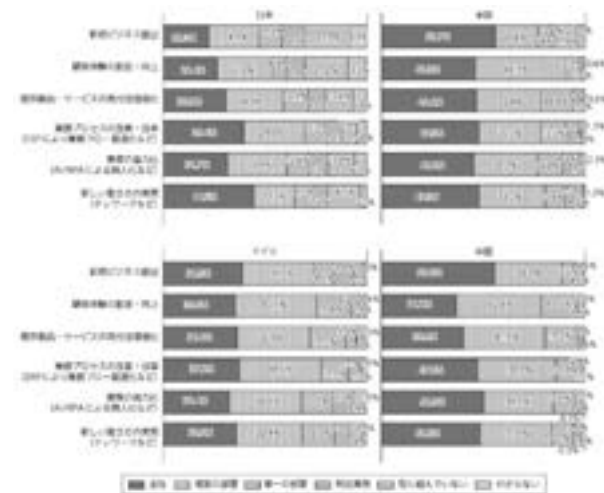


図 2 デジタル化推進に向けて取り組んでいる事項（各国比較）

(出典) 総務省 (2024)「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及びデジタル活用の動向に関する調査研究」

設 問

問 1 図 1 から読み取れることについて、150 字以内で書きなさい。

問 2 図 1 と図 2 を踏まえ、日本企業がデジタル化を推進していく上で直面している課題と、それに対する解決策について、250 字以内で書きなさい。

- 3 -

- 4 -

⑥一般選抜前期日程 小論文試験問題

問題1 次の英文の要約を200字以内の日本語で書きなさい。

The government seems to have finally gotten around to legal restrictions for artificial intelligence, but when it says it will “spend several years discussing the issue,” one wonders if it seriously intends to regulate AI.

The government should take head-on the various risks surrounding AI. One option is to change its conventional approach from a heavy emphasis on promoting AI and restart the debate from scratch.

So far, the government has been reluctant to regulate AI, and tried to let the industry self-regulate so that AI development can drive economic growth.

However, there are risks with AI, such as that it will be used to create elaborate fake videos for criminal ends and that personal information will be collected without permission.

Last year, the United States regulated AI development for security purposes through an executive order [1]. This month, the European Union also enacted the AI Act, which comprehensively regulates AI. It intends to apply the law to member states from as early as 2026.

The EU’s AI Act aims to protect democracy and human rights from AI. The law prohibits the development of AI and other technologies that automatically collect photos of people’s faces online and compile them into a database.

In light of these efforts in the United States and Europe, the government has now begun to consider AI regulations. Based on the government’s policy, its AI Strategy Council, chaired by University of Tokyo Prof. Yutaka Matsuo, will reportedly consider specific measures for regulations.

One proposal that has been floated is for the government to require developing firms to conduct safety inspections to ensure that AI does not provide answers that could encourage crime or leak personal information.

If such measures are implemented, the safety of AI is expected to improve. However, even if the government actually implements the regulations, it is said to be looking to do so several years from now.

In addition, the AI Strategy Council intends not to look at how to protect copyrighted works in the regulations.

Under the Copyright Law, which was revised in 2018, AI developing companies are allowed to make AI learn copyrighted works without the permission of the copyright holders.

Creators and others, whose works are being used to develop products, have criticized the law, saying that it could hinder their creative activities.

If such a situation is left unchecked, people could lose the motivation to create writings, paintings and other works, and art and culture could decline. The government should move quickly to revise the Copyright Law again.

But more fundamentally, is it appropriate to leave discussion of regulations to the AI Strategy Council, which has strongly promoted the use of AI? If the government intends to come up with effective measures, it needs to consider changing the forum for discussion.

(出典：Editorial: Legal Restrictions on AI: Face up to Risks and Restart Debate, The Japan News, May 24, 2024, 原文のまま)

[1] an executive order：大統領令

- 1 -

- 2 -

問題2 次の二つの図は、令和6年版『観光白書』からの引用である。これらの図に基づいて、以下の設問に答えなさい。

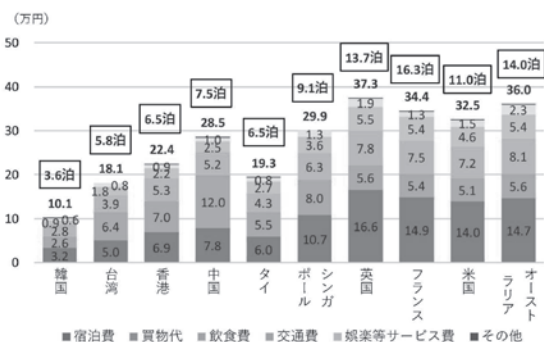


図1 国籍・地域別消費単価及び平均泊数（2023年）

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」（観光・レジャー目的、2023年）により作成。

注1：枠内の数値は平均泊数を示す。

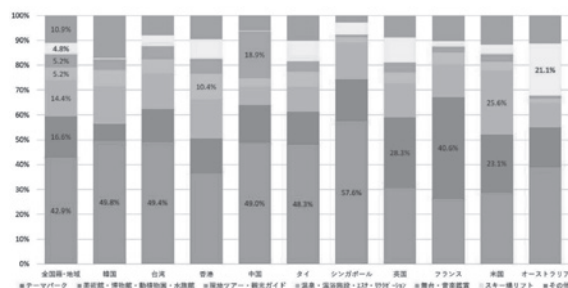


図2 国籍・地域別の娯楽等サービス費の構成比（2023年）

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」（観光・レジャー目的、2023年）により作成。

注1：その他は、「ゴルフ場・スポーツ施設利用料」、「スポーツ観戦」、「マッサージ・医療費」、「展示会・コンベンション参加費」、「レンタル料（レンタカーを除く）」、「その他娯楽等サービス費」を合計したもの。

設問

問1 図1から読み取れることについて、200字以内で書きなさい。

問2 図1と図2を踏まえて、訪日外国人旅行者の消費行動の傾向と推測される問題あるいは課題について、250字以内で書きなさい。

- 3 -

- 4 -

情報学部 一般選抜 前期日程(6教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	2月25日(木)	3月8日(月)	3月8日(月)～ 3月15日(月) 必着

2 募集人員

情報学科 45名

3 出願資格

5ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (6教科7科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般の学習を前提とした基礎学力及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	1200点
小論文又は数学 数学の出題範囲： 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C	小論文又は数学のいずれかを選択し、評価を行う。 小論文では、社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。 数学では、情報学を学ぶための基盤となる数学の基礎的・基本的な知識・技能、幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力、及び自らの思考や判断を他者に伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用する。調査書は、高等学校全般の学習を前提とした基礎学力、高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (6教科7科目)	○	○		
小論文又は数学	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点(6教科7科目)】

教科	科目	配点
国語	「国語」	200点
地理歴史 公民	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」 「公共、政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	200点
外国語	「英語」(リーディング100点及びリスニング100点)	200点
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 } から1 「物理」「化学」「生物」「地学」	200点
数学	「数学Ⅰ、数学A」及び「数学Ⅱ、数学B、数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		1200点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲(「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」)のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲(「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」)のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史、公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文又は数学】

- ・90分間の小論文試験又は数学試験を行います。
- ・小論文試験又は数学試験のいずれかを試験当日に選択してください。事前申請は必要ありません。
- ・小論文試験と数学試験は得点調整を行うことがあります。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文又は数学

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び令和9年度大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文又は数学試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・11・12ページに記載の受験上の注意を必ず確認してください。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。本学受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場 (福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370)
- 2 大阪会場 (難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング)

難波御堂筋ホール
アクセス



情報学部 一般選抜 前期日程(4教科型)

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	2月25日(木)	3月8日(月)	3月8日(月)～ 3月15日(月) 必着

2 募集人員

情報学科 20名

3 出願資格

5ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (4教科5科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般的な学習を前提とした基礎学力及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	800点
小論文又は数学 数学の出題範囲： 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C	小論文又は数学のいずれかを選択し、評価を行う。 小論文では、社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。 数学では、情報学を学ぶための基盤となる数学の基礎的・基本的な知識・技能、幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力、及び自らの思考や判断を他者に伝える表現力を評価する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用する。調査書は、高等学校全般的な学習を前提とした基礎学力、高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (4教科5科目)	○	○		
小論文又は数学	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点(4教科5科目)】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 1教科 200点
地理歴史 公民	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」 「公共、政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	
外国語	「英語」(リーディング100点及びリスニング100点)	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 } から1 「物理」「化学」「生物」「地学」	200点
数学	「数学Ⅰ、数学A」及び「数学Ⅱ、数学B、数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		800点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲(「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」)のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲(「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」)のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史、公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文又は数学】

- ・90分間の小論文試験又は数学試験を行います。
- ・小論文試験又は数学試験のいずれかを試験当日に選択してください。事前申請は必要ありません。
- ・小論文試験と数学試験は得点調整を行うことがあります。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文又は数学

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び令和9年度大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文又は数学試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・11・12ページに記載の受験上の注意を必ず確認してください。

7 試験会場

本学会場又は大阪会場で受験できます。Web出願登録時に第一希望試験会場を選択してください。出願後の第一希望試験会場の変更はできませんのでご注意ください。なお、大阪会場については先着順で受験を受け付け、座席数以上の志願者があった場合は、本学会場での受験となる可能性があります。本学受験票記載の試験会場を必ず確認してください。

- 1 本学会場 (福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370)
- 2 大阪会場 (難波御堂筋ホール 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング)

難波御堂筋ホール
アクセス



1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
1月25日(月)～ 2月3日(水) 消印有効	3月12日(金)	3月21日(日)	3月21日(日)～ 3月27日(土) 必着

2 募集人員

情報学科 10名

3 出願資格

5ページに記載の出願資格を有し、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者

4 出願書類

Web出願・出願書類

(1) 志願票

Web出願サイトに登録し、印刷してください。

(2) 調査書(出身学校長が作成し厳封したもの)

調査書が提出できない場合は、各入学資格についての証明書及び調査書代替書(本学所定の様式による)を提出してください。調査書代替書は本学ホームページからダウンロードしてください。



5 選抜方法等

一般選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
大学入学共通テスト (5教科6科目)	大学入学共通テストにより、高等学校全般的な学習を前提とした基礎学力及び情報学部で学ぶうえで必要な思考力・判断力を評価する。	1000点
小論文	社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。	300点
調査書	合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を判断材料として活用する。調査書は、高等学校全般的な学習を前提とした基礎学力、高等学校における活動内容から主体性を持ち協働する態度を評価する。	—

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
大学入学共通テスト (5教科6科目)	○	○		
小論文	○	○	○	
調査書	○			○

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【大学入学共通テスト利用教科・科目・配点（5教科6科目）】

教科	科目	配点
国語	「国語」	高得点 3教科
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」 「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」 } から1	200点
外国語	「英語」（リーディング100点及びリスニング100点）	200点
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 } から1 「物理」「化学」「生物」「地学」	200点
数学	「数学Ⅰ，数学A」及び「数学Ⅱ，数学B，数学C」	150点 150点
情報	「情報Ⅰ」	100点
合計		1000点

- ・地理歴史と公民は合わせて1教科として取り扱います。
- ・「地理総合／歴史総合／公共」は、出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答してください。
- ・地理歴史，公民及び理科において2科目受験した場合はいずれかの高得点科目を採用します。
- ・大学入学共通テストにおける英語のリスニングを免除された者については、リーディングを200点満点になるように換算し、外国語の得点として取り扱います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

13時30分	14時30分	15時00分～16時30分
入室可能時間	指定席に着席	小論文

- ・受付は行いませんので、14時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票及び令和9年度大学入学共通テスト受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・11・12ページに記載の受験上の注意を必ず確認してください。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

1 選抜日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
11月1日(日)～ 11月6日(金) 消印有効	11月15日(日)	12月2日(水)	12月2日(水)～ 12月9日(水) 必着

2 募集人員

情報学科 全国枠20名、地域枠10名、専門学科枠5名

※本学は基本理念に基づき、北近畿地域における高等教育機関への進学機会を提供することを目的として、学校推薦型選抜において「地域枠」（「全国枠」としての選抜対象にもなる）を設定しています。また、多様な学生を受け入れることを目的として「専門学科枠」を設定しています。

3 出願資格

1つの高等学校から推薦できる人数に上限はありません。

各枠の出願資格を有する場合は、いずれかの枠を選んで出願することができます（併願不可）。

【全国枠】

次の(1)～(4)の全てを満たす者

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者（単位制高等学校等で令和8年度の途中に卒業する者を含む。なお、過年度生等の出願は不可とする）
- (2)合格した場合は入学することを確約できる者
- (3)本学及び本学部のアドミッション・ポリシーに合致していると学校長が認め、推薦する者
- (4)全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.8以上の者

【地域枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ次の市町に所在する高等学校の生徒

- ・京都府：京都市右京区（ただし旧京北町に限る）、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、与謝野町
- ・兵庫県：豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、香美町、新温泉町

【専門学科枠】

全国枠の出願資格(1)～(4)を全て満たし、かつ以下を満たす者

- ・工業、商業又は情報に関する教科・科目を20単位以上修得見込みの者

4 出願書類

- (1)志願票
- (2)調査書（出身学校長が作成し厳封したもの）
- (3)学校長推薦書（本学所定の様式により厳封したもの）
- (4)自己アピール書（本学所定の様式による）

※（1）はWeb出願サイトに登録し、印刷してください。

※（3）（4）は本学ホームページからダウンロードしてください。

Web出願・出願書類



5 選抜方法等

学校推薦型選抜では本学のアドミッション・ポリシーに基づいて、学力の3要素に対応する「知識・技能」、「思考力・判断力」、「表現力」と、学習する態度としての「協働する態度」を多面的・総合的に評価します。それぞれの選抜方法において、以下の表にまとめたように複数の評価方法を組み合わせることで、重視する要素を評価します。

選抜方法	評価の内容	配点
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	調査書、学校長推薦書、及び自己アピール書により、高等学校全般の学習を前提とした知識・技能と、自らの経験や活動で得た主体性や協働する態度を評価する。	50点
面接 (個別)	出願書類をもとにした質疑応答及び高等学校での学習内容を前提とした基礎学力に関する質疑応答を行う。その中で、情報学を通じて社会に貢献するために必要な思考力や判断力、自分の考えを論理的に伝える能力、さらに地域社会の多様な人々と協力しながら学び続ける態度を評価する。	50点
小論文	社会と情報技術の関係に関する出題を通じて、関連する知識を理解し、その知識を効果的に活用する思考力を評価する。また、さらに自分自身の考えを適切に表現する力も重視する。	50点

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	協働する態度※
出願書類 (調査書、学校長推薦書、自己アピール書)	○			○
面接		○	○	○
小論文	○	○	○	

※地域社会の多様なアクターと主体性を持ち協働しつつ学習する態度を指す。

【出願書類】

- ・自己アピール書に、記載した内容に関する成果物を用いたい場合は、必要に応じて図や表、写真などで自己アピール書の指定用紙内に収めてください。添付資料は受理しません。万が一、添付した場合でも、評価対象とはならず、返却もできません。

【面接】

- ・10分程度の個別面接を行います。

【小論文】

- ・90分間の小論文試験を行います。

6 試験時間割

8時30分	9時30分	10時00分～11時30分	11時30分～12時45分	12時45分	13時00分～
入室可能時間	指定席に着席	小論文	休憩	指定席に着席	面接

- ・受付は行いませんので、9時30分までに指定された席に座ってください。
- ・着席後は机上の受験番号票の手前に本学受験票を置いてください。
- ・小論文試験は、試験開始から30分までの遅刻に限り受験を認めます。30分以上遅刻した場合は受験を認めません。
- ・面接試験は、12時45分までに指定席に着席をしていない場合は受験を認めません。
- ・11・12ページに記載の受験上の注意を必ず確認してください。

7 試験会場

本学会場（福知山公立大学 〒620-0886 京都府福知山市字堀3370）

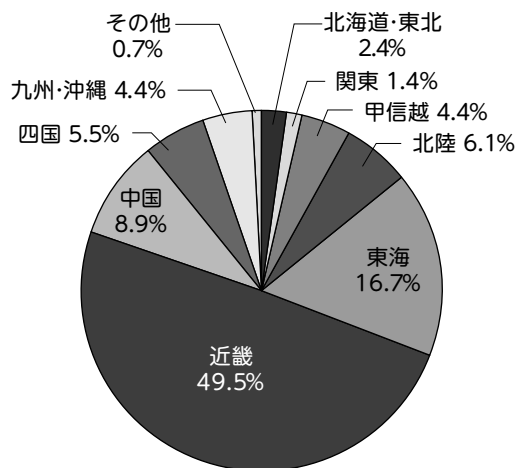
情報学部 令和8年度入試実施状況

①志願者数・受験者数・合格者数・入学者数

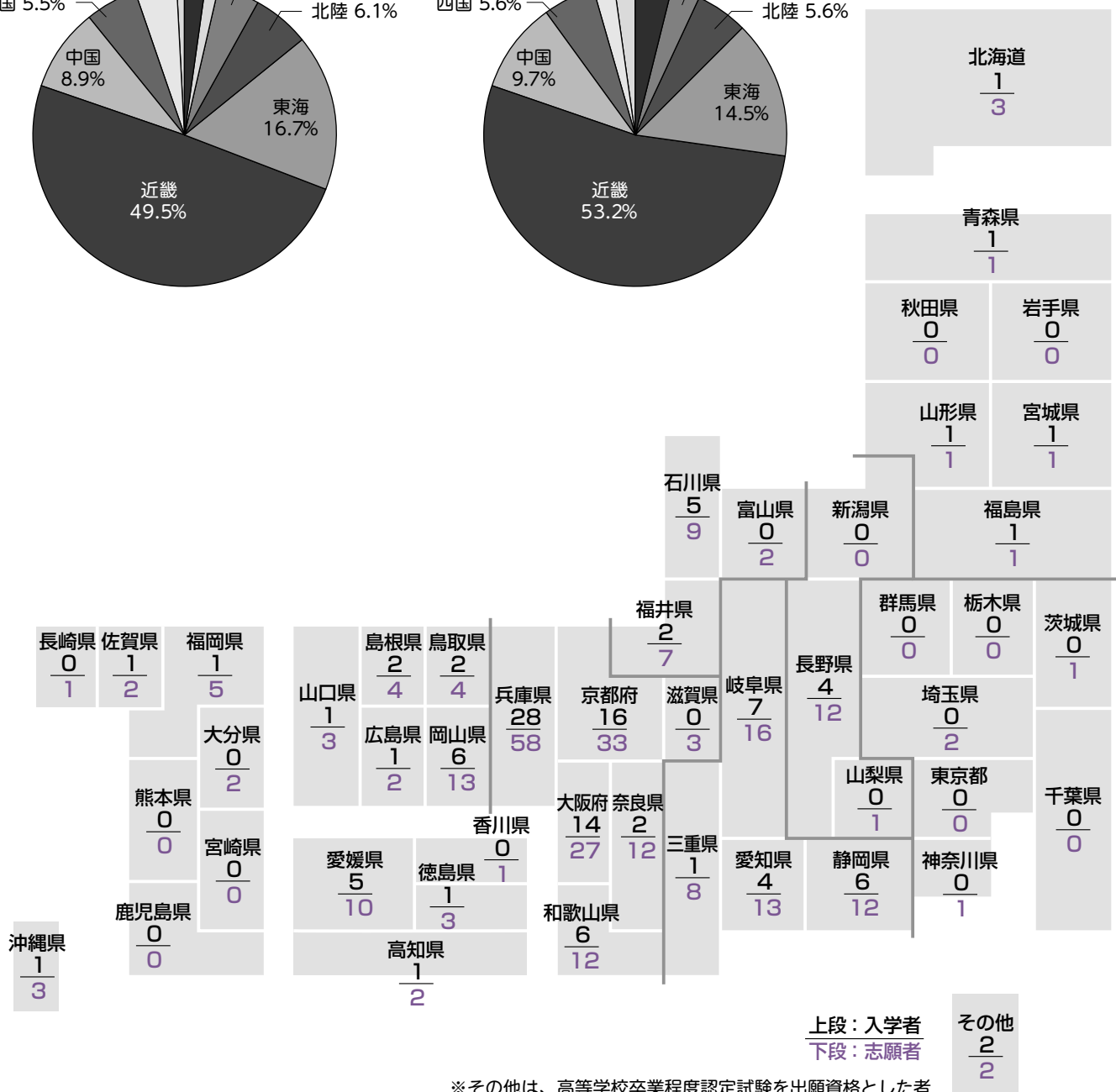
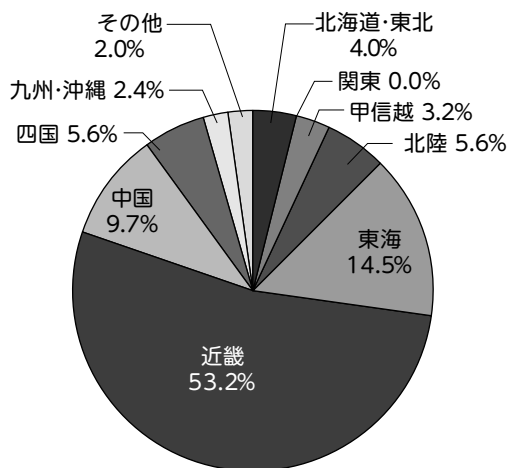
学部・学科	種別	選抜区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
情報学部・情報学科	総合	総合型選抜Ⅰ	5	44	43	7	7
		総合型選抜Ⅱ	5	5	5	5	5
		小計	10	49	48	12	12
	推薦	全国枠	20	29	29	23	23
		地域枠	10	7	7	7	7
		専門学科枠	5	9	9	6	6
		小計	35	45	45	36	36
	一般	前期日程(6教科型)	45	61	56	54	39
		前期日程(4教科型)	20	38	33	32	23
		後期日程	10	100	21	20	14
		小計	75	199	110	106	76
		私費外国人留学生	若干名	0	0	0	0
	合計		120	293	203	154	124

②地区別（都道府県）志願・入学状況

■地区別志願状況（293人）



■地区別入学状況（124人）



※その他は、高等学校卒業程度認定試験を出願資格とした者

③志願者出身高等学校一覧

北海道	長野東	東海南	大阪学芸	六甲学院	山口県
旭川北	篠ノ井	西春	開明	神戸星城	岩国
クラーク記念国際	上田	愛知総合工科	興國	夙川	下関西
青森県	伊那北	中部大学春日丘	浪速	三田学園	下関南
五所川原	伊那弥生ヶ丘	三重県	関西大倉	東洋大学附属姫路	徳島県
宮城県	飯田	亀山	常翔学園	第一学院 養父校	脇町
岩ヶ崎	岐阜県	津西	清風	奈良県	徳島科学技術
山形県	岐阜北	松阪	初芝富田林	奈良県立大学附属	城ノ内
日本大学山形	岐山	伊勢	大阪桐蔭	帝塚山	香川県
福島県	岐阜商業（県立）	三重	四天王寺東	智辯学園	坂出
福島西	大垣南	滋賀県	兵庫県	奈良学園	愛媛県
茨城県	大垣商業	東大津	夢野台	智辯学園奈良カレッジ高等部	小松
土浦第二	関	八日市	伊川谷	和歌山県	今治西
埼玉県	恵那	守山	神戸商業	向陽	松山東
埼玉栄	中津	京都府	尼崎北	海南	松山北
西武学園文理	中津商業	山城	尼崎小田	新宮	八幡浜
神奈川県	可児	亀岡	伊丹北	開智	松山中央
茅ヶ崎北陵	鶯谷	福知山	川西緑台	近畿大学附属和歌山	新田
富山県	静岡県	工業	猪名川	鳥取県	高知県
大門	三島北	西舞鶴	柏原	鳥取東	高知小津
南砺福野	沼津西	日吉ヶ丘	加古川西	八頭	高知商業
石川県	島田	洛西	龍野	倉吉東	福岡県
金沢桜丘	榛原	南陽	姫路商業	鳥取敬愛	小倉南
鹿西	掛川西	城南菱創	相生産業	島根県	嘉穂東
七尾	浜松南	宮津天橋	八鹿	益田	筑前
小松明峰	浜松工業	開建	和田山	吉賀	九州国際大学付属
金沢	浜松市立	花園	津名	岡山県	佐賀県
星稜	星陵	京都両洋	東播磨	倉敷工業	唐津南
福井県	静岡北	京都女子	葦合	笠岡	長崎県
高志	島田樟誠	洛陽総合	尼崎（市立）	笠岡工業	佐世保西
羽水	藤枝明誠	京都共栄学園	尼崎稲園	瀬戸	大分県
大野	愛知県	大阪府	加古川北	和気閑谷	杵築
若狭	五条	吹田東	川西北陵	明誠学院	中津南
金津	安城	三島	加古川南	岡山学芸館	沖縄県
山梨県	安城東	生野	神戸高塚	鹿島朝日	沖縄尚学
日本航空	西尾	河南	姫路飾西	広島県	N
長野県	西尾東	堺西	伊川谷北	東	
須坂	国府	槻の木	北摂三田	広島工業大学	
長野西	小坂井	千里青雲	神戸鈴蘭台		

④小論文試験の全体講評

2026年度 情報学部 小論文試験および数学試験についての全体講評

1-1. 小論文試験の出題意図

情報学部の小論文試験は、アドミッション・ポリシーにおける「数学や情報学の基礎的・基本的な知識・技能」、「幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力」、ならびに「自らの試行や判断を他者に伝える表現力」について評価することを主たる目的とした設問から構成されています。このため、社会で利活用されている情報技術に関する文章やデータなどを題材とした問題を出題し、題材の内容を理解するための知識や理解力に加えて、理解した内容に基づいて考察する思考力と、設問に沿って論理的にかつ過不足なく思考した内容を記述する表現力を問う出題になっています。

1-2. 採点・評価のポイント

いずれの選抜区分でも、小論文の出題はそれぞれの題材に基づいた2つの大問（問題1と問題2）から構成されています。問題ごとの評価のポイントは以下の通りです。

問題1

問題1では、主に題材の内容に関する知識や理解力・思考力が問われ、理解したことを過不足なく表現することが期待される2問から構成されています。

問1では題材の文章が述べている内容や、技術と社会との関わりなどを的確に把握する理解力が問われました。また、問2では主に理解に基づいて思考する力が問われました。解答の論述においては、設問の前提となる題材に基づくことが重視されています。題材に関する知識あるいは理解に基づく思考の内容を適切な文章として表現することが必要でした。とくに、設問に対応する箇所を適切に抽出できる理解力と論点を明確にして思考する力が重視され、問われていることがらについて、適切に理解しているか、提示された問いについて考察を行っているか、その内容を指定の文字数の範囲で簡潔に記述できているかが評価のポイントでした。

問題2

問題2においては、問われたことについて自分自身の考えを記述することが求められています。その記述の明快さと論理展開の適切さが評価のポイントです。題材として提示された記事の内容を理解し、その理解に基づいて設問に沿って考察する思考力、および考察した内容を適切に述べる表現力が求められています。一部の選抜区分に、図（グラフ）を読みとって計算を行い解答する設問がありました。そこでも、題材として提示されたデータが示している状況を理解する能力と、さらに正解を導くための思考力を身に付けていることが求められました。

問題2においては、計算を必要とする箇所を除いて、唯一の明らかな正解は存在しません。しかし、題材に含まれない内容や、題材において否定されている事実に基づいた論述は適切ではありません。また、設問で指定されていることから逸脱した論理の展開や事例の提示なども、適切な解答ではありません。問いの前提となる仮定や事実を把握すること、そしてそこから自分自身で考えて結論を導くことが重要です。評価においては、導かれた結論の良し悪しではなく、なぜそのように考察したのかについて、題材と設問に立脚しつつ簡潔かつ明快に述べているかを重視し、現実的な観点からの考察であるかなどの要素も踏まえた評価がなされました。

2-1. 数学試験の出題意図

情報学部の数学科試験は、アドミッション・ポリシーにおける「数学や情報学の基礎的・基本的な知識・技能」、「幅広い知識・技能を活用できる思考力・判断力」、ならびに「自らの試行や判断を他者に伝える表現力」について評価することを主たる目的とした設問から構成されています。4つの大問からなり、全て教科書の章末問題レベルの難易度です。基礎的な計算力を確認するとともに、題意を理解し筋道をたてて解答する力を問う問題を出題しています。全ての問題を記述式の解答形式にしておき、数学の知識・技能および思考力・判断力に加えて、解答を導くアプローチを記述する表現力も評価しています。

2-2. 採点・評価のポイント

数学の出題は、4つの大問（問題1～4）から構成されています。問題ごとの評価のポイントは以下の通りです。

問題1

5つの小問（(1)～(5)）からなります。(1)は三角関数の性質や定理を使うことができるかどうかを問うています。(2)は平均値と分散の定義を知っているかを確認し、そこから計算式を立てて問われている値を求めることができるかを見えています。(3)は部分分数分解の確認であり、特に分母に2次以上の因子が含まれているときの分解ができるかを問うています。(4)と(5)は微分・積分の計算力を問うています。合成関数の微分と部分積分の計算ができるかどうかを確認しています。

問題2

有理関数（分数関数）のグラフを作成する問題です。3つの小問（(1)～(3)）からなり、小問は関数のグラフを描くために必要な手順が順に並んでいます。(1)では、関数の極限を調べることができるかを問うており、(2)は有理関数の微分をすることで極値を調べることができるかを問うています。(3)でグラフの概形を描きますが、特に不連続点が2つあること、極値の符号、負または正の無限大への極限が0に向かうことが重要でした。

問題3

複素数平面上を動く点がどのような軌跡を描くかを問う問題です。2つの小問(1)と(2)からなり、(1)はよく知られる垂直二等分線上を動く点の方程式です。(2)は複素数の絶対値の計算とそれを含む方程式を上手く変形することができるかを確認しています。

問題4

三角関数を用いた方程式について、解をすべて求める問題です。3つの小問（(1)～(3)）からなり、最後の小問(3)は題意を正確に読み取る力が試されます。(1)は定められた変数の範囲の中で方程式の解を列挙することができるかを問うています。(2)はいわゆる三角関数の和積の公式を用いることで、方程式を書き換える必要があります。(3)は問題の設定をよく理解した上で、命題が指す値が何であるかを把握しなければなりません。問題を考えるための方程式とその解法は(2)と同じであり、あとは丁寧に論証できるかどうかを試しています。

福知山公立大学入試委員会
2026年3月31日

⑤学校推薦型選抜 小論文試験問題

問題1 次の文章は、『朝日新聞 電子版(2025 年 5 月 9 日配信)』からの引用(一部抜粋)である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

ごみ収集、AI で効率化へ

ごみ収集車に設置した人工知能(AI)センサーで、ごみ排出量のデータを取得する取り組みを神奈川県鎌倉市と慶応大 SFC(湘南藤沢キャンパス) 研究所などが進めている。ごみ収集の効率化や減量につなげる目的だ。

AI センサーは 2023 年から取り付け始め、現在、約 30 台中 17 台に搭載している。車の後部カメラで撮影した映像から、車載の AI 搭載機器で燃やすごみを袋単位で計測。収集した時間と場所のデータを研究所に送信する。ごみの映像は送信せず、プライバシーに配慮するという。

中沢仁教授(環境情報学)は「ごみ袋の数と大きさのデータをリアルタイムで取れるのが技術上の強み。詳細なごみの出方を把握することで適時・適切な政策の実施が可能になる」と話す。

市は 4 月から市内の七里ガ浜地区など約 1 万世帯で燃やすごみの戸別収集を始めた。従来のクリーンステーション(集積所)に出されたごみの量と比較し、減量効果を検証する。先行する他の自治体では、分別が進み、燃やすごみが減ったという報告がある。

ごみの量が多い地域に少ない地域の収集車を回すこともでき、「収集の効率化が期待できる」(市の担当者)という。

「朝日新聞社に無断で転載することを禁じる」
「承諾番号 26-0842」

設 問

問1 下線部の目的を達成するための具体的な方策と、その効果について、記事本文を参照して 160 字以内で説明しなさい。

問2 この文章では、ごみ収集作業に AI 技術を導入することによりごみ排出量を減らし、さらにごみ収集作業を効率化することを目的とした取り組みが紹介されている。これらの目的を達成するために有効な、情報技術を活用したその他の方策を考え、180 字以内で説明しなさい。なお情報技術として AI 以外の技術を活用するものであっても良い。

問題2 次の文章は、『令和 6 年版 情報通信白書』からの引用(一部改変・一部抜粋)である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

能登半島地震における偽・誤情報について

能登半島地震において、SNSは情報収集手段や安否確認手段として寄与していた一方で、SNS上では、迅速な救命・救助活動や円滑な復旧・復興活動を妨げるような偽・誤情報が流通したと指摘されている。

X(Twitter Japan社[※])によれば、X(旧Twitter)における能登半島地震に関する偽・誤情報を含む投稿の主なものとして、今回の地震が「人工地震」であるとの言葉を含む投稿が約10万件、「窃盗団」(が現地に出没)に関する投稿が約200件、「支援要請」(偽の寄付を募るもの)に関する投稿が約350件、「救助要請」に関する投稿が約21,000件あったとされる。

また、日本ファクトチェックセンター(JFC)では、能登半島地震をめぐる大量の偽・誤情報の拡散を踏まえ、継続的に情報を検証し、事実確認を実施している。2024年1月27日には、災害発生時から復旧・復興など、それぞれの段階で何が話題になるかの傾向について、整理・公表した。災害時に広がる偽情報5つの類型を分類するとともに、『『志賀原発から海上に油19,800リットルが漏れ始めた』は誤り』『『仮想通貨で寄付を呼びかけるサイト』は誤り』といったファクトチェック記事を公開している。

情報通信研究機構(NICT)が開発・試験公開した災害状況要約システムD-SUMM(ディーサム)でのX(旧Twitter)における投稿分析によれば、今回の能登半島地震では、発災後24時間の間に投稿された救助を求める報告の数(総報告数16,739のうち1,091)が、2016年の熊本地震の際の報告数(総報告数19,095のうち573)と比較して倍増した。この1,091件のうち254件の投稿で矛盾報告が検出され、デマと推定できたのは104件あった。システムが分析するのはXの日本語投稿の10%であるが、熊本地震の救助を求める報告数(573)の中で、偽情報とみられたものは1件であり、今回の能登半島地震において、SNS上で偽情報がより多く投稿されていたことが分かった。(以下略)

※現在の「X Corp. Japan 株式会社」

設 問

問 災害発生時には、災害情報や避難情報を確実に取得することが重要となるといわれている。偽・誤情報を排除し、正しい情報を得るためにはどのような行動が必要になるかについて、あなたの考えを 200 字以内で述べなさい。

⑥一般選抜前期日程 小論文・数学試験問題

小論文

問題 1 次の文章は『NHK NEWS WEB (2025 年 4 月 1 日 5 時 24 分)』からの引用 (一部抜粋) である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

ネットのひぼう中傷 SNS 事業者に迅速な対応求める改正法 施行

インターネット上のひぼう中傷などの投稿について、SNS の運営事業者に対し、被害を受けた人への迅速な対応を求める改正法が 4 月 1 日に施行されました。事業者への対策の強化で被害を減らすことができるかが課題となります。

SNS などインターネット上でのひぼう中傷の書き込みをめぐっては、被害を受けた人が削除を求める際に申請窓口がわかりにくいなど、事業者の対応が不十分だと指摘されています。このため、1 日に施行された改正法では、事業者に対し、ひぼう中傷など権利の侵害があった場合に投稿の削除の申し出を受け付ける窓口を整備するほか、削除の申し出があった場合、速やかに調べて 7 日以内に判断して被害者に通知することを求めています。

施行に伴って、総務省はプライバシーや著作権といった権利を侵害する文言や法令違反に関わる内容が入った投稿など、事業者に削除などを求める対象を明示したガイドラインを公表しています。

また、総務省は 3 月、インターネット広告を通じて偽情報などの拡散が助長されるのを防ぐため、広告主の企業に対応を求める指針の案も公表していて、一連の取り組みで被害を減らすことができるかが課題となります。

情報流通プラットフォーム対処法について、SNS では「政府による SNS 規制だ」とか「政府によって言論が弾圧される」などとする不正確な情報が広がっています。

NHK が SNS の分析ツール「Brandwatch」で調べたところ、「SNS 規制」ということばを含む X の投稿は 3 月に入ってから以降、30 日までにリストを含め 100 万件を超えています。投稿が急増したのは、法律が施行される日が 4 月 1 日に決まった翌日の 3 月 12 日で、1 日で 21 万件を超えていました。

法律が「SNS 規制だ」とか「政府による言論統制だ」などとする主張が多く拡散し、合わせて少なくとも 2,000 万回以上見られていましたが、今回の法律は SNS などを運営する事業者に対して、ひぼう中傷など権利が侵害される投稿があった場合に、投稿の削除といった対応の迅速化などを義務づけるもので、いずれの主張についても総務省は否定しています。

さらに「国会の審議もなく決定された」などとする誤った情報も広がりましたが、法案は去年の国会で審議されたうえで、衆議院では全会一致、参議院では賛成多数で成立しています。

設問

問1 この文章は、情報流通プラットフォーム対処法の施行について述べている。情報流通プラットフォーム対処法が施行されたねらいを 200 字以内で要約しなさい。

問2 この文章で、SNS では不正確な情報が広がりやすいことが述べられている。この理由と対策について、あなたの考えを 300 字以内で述べなさい。

- 1 -

数 学

問題 1 以下の問いに答えよ。

- $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$, $0 < \beta < \frac{\pi}{2}$, $\tan \alpha = 3$, $\tan \beta = \frac{1}{3}$ であるとき、 $\cos(\alpha + \beta)$ の値を求めよ。
- 変量 x の n 個のデータ $x_1, x_2, \dots, x_n$ が与えられており、その平均値 $\bar{x}$ と分散 s_x^2 がそれぞれ $\bar{x} = 2$ と $s_x^2 = 16$ であるとする。また、変量 y のデータは $y_i = ax_i + b$ (a, b は定数) で得られ、その平均値 $\bar{y}$ と分散 s_y^2 がそれぞれ $\bar{y} = 5$ と $s_y^2 = 64$ であるとする。ただし、 i は 1 以上 n 以下の整数とする。このとき、 a と b の値を求めよ。
- 等式 $\frac{-x^2 + 2}{(x-1)^2(x-2)} = \frac{a}{(x-1)^2} + \frac{b}{x-1} + \frac{c}{x-2}$ が x についての恒等式であるとき、定数 a, b, c の値を求めよ。
- 関数 $y = (\log x)^2 - \log(\log x)$ の導関数を求めよ。
- 定積分 $\int_{-\pi}^{\pi} x \sin 3x \, dx$ の値を求めよ。

数 学

問題 3 z を複素数とし、 i を虚数単位とする。以下の問いに答えよ。

- 次の方程式を満たす点 z の全体を複素数平面上に図示せよ。

$$|z| = |z - 1 - i|$$

- 点 z が (1) の方程式を満たしながら動くとき、 $w = \frac{z-1}{z+2}$ で表される点 w は複素数平面上でどのような図形を描くか答えよ。

小論文

問題 2 次の文章は、『読売新聞 (2023 年 4 月 19 日 電子版 yomiDr. ニュース解説)』からの引用 (一部抜粋・一部改変) である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

社会のあらゆる分野でデジタル化が進む中、インターネットに不慣れた高齢者らが取り残される「デジタルデバインド (情報格差)」の解消が課題となっている。高齢者向けのスマートフォン教室や相談会などを通じて、「通話」以外の使い方を定着させる取り組みが活発になっている。

「散歩の後に飲むアイスコーヒーは最高！」

「私は展望室からの眺めを撮影しました」

東京都墨田区が 2021 年度から始めたデジタルデバインド解消事業には、平均年齢 80 歳の区民約 50 人が、3～5 人のグループに分かれて参加している。日々の出来事に関するコメントや、お気に入りの風景を収めた写真画像などを、スマホを通じて投稿し合う。「仲間と楽しみながら、スマホの“日常使い”を定着させる」(高齢者福祉課) という狙いだ。

事業の背景には、新型コロナウイルスワクチン接種を巡り、ネットが使いこなせない高齢者が予約に手間取ったという苦い経験がある。区は行政手続きのオンライン化を進めるにあたって、区民の意識調査で、70 歳以上のスマホ保有割合が約 6 割に上る一方、「通話以外に機能を使いこなせない」との声が多い点に着目した。スマホでの文字入力や写真撮影・投稿の習慣化を支援するアプリの開発会社と連携し、対策に乗り出した。2023 年度はさらに参加者を増やすほか、スマホ操作に関する相談会を開いて、活用に興味を持つシニア層のすそ野を広げていきたい考えだ。

参加者の一人でスマホを使い始めて約 1 年の A さん (87 歳) は「散歩中に地図を調べたり、バスなど公共交通の乗り換え案内を検索したりと、スマホの利用の幅が広がった。行政手続きでも積極的に使いたい」と語る。本アプリは 2022 年度時点で、東京都内ほか全国自治体で活用され、2023 年度はさらに広がる予定だ。デジタルデバインド対策と併せ、高齢者の健康作りや社会参加を通じた介護予防にもつなげる効果を期待している。

設問

問 ここに書かれているように、高齢化が進む地域のデジタルデバインドの解消は社会課題のひとつとなっている。ここでの取り組みは、スマートフォンの利用にとどまらず、さまざまな情報サービスの基盤となることが期待されている。利用者はどのようなサービスを求めるか、またそのサービスの実現や ICT (情報通信技術) の利活用がどのように地域の課題を解決していくかについて、あなたの考えを 300 字以内で述べなさい。

- 2 -

数 学

問題 2 関数 $f(x) = \frac{2x-5}{x^2-5}$ について、以下の問いに答えよ。

- 極限値 $\lim_{x \rightarrow 0} f(x)$ と $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x)$ をそれぞれ求めよ。
- $f(x)$ の極大値と極小値を与える x の値をそれぞれ求めよ。
- $y = f(x)$ のグラフの概形を描け。ただし、凹凸は調べなくてよい。

数 学

問題 4 以下の問いに答えよ。

- $0 \leq x < 1$ における $\sin 8\pi x = 1$ を満たす x の値をすべて求めよ。
- $0 \leq x < 1$ における $\sin 8\pi x = -\sin 6\pi x$ を満たす x の値をすべて求めよ。
- $f(x) = \cos 200\pi x$ とする。また、 m を整数として $g_m(x) = \cos 2m\pi x$ とおく。 n を正の整数とするとき、次の命題 $P(n)$ が真となるような n の値をすべて求めよ。

$P(n)$: 0 以上 100 未満の整数 m で、 $k = 0, 1, 2, \dots, n-1$ について、 $f\left(\frac{k}{n}\right) = g_m\left(\frac{k}{n}\right)$ が成り立つものが存在する。

合格発表

1 発表方法

- (1) 合格発表日の13時00分に、本学ホームページにて「合格者受験番号一覧表」を掲載します。
- (2) 合格通知書は送付しませんので、必要な場合はWeb出願サイトへログインし、「出願内容一覧」の「合否結果照会」からダウンロードしてください。
合格者への案内資料は「合否結果照会」からダウンロードしていただきますので、必ずログインし、内容を確認してください。
- (3) 学校推薦型選抜については、出身学校長宛に合否結果通知書を送付します。
- (4) 電話等による合否の問合せについては一切応じません。

ホームページ



2 欠員補充の方法

- (1) 追加合格
合格者の入学手続の結果、欠員が生じた場合に限り合格者を追加することがあります。ただし、一般選抜の前期日程及び後期日程の不合格者で他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）に入学手続を行っていない者が対象となります。なお、前もって追加合格者としての通知は行いません。
(ア) 追加合格の実施の有無については、令和9年3月27日（土）中に、本学ホームページに掲載します。
(イ) 令和9年3月28日（日）以降、該当者へ志願票に記載されている連絡先に電話で追加合格の通知を行います。その際、最初の電話連絡から1時間以内に速やかに入学意思の確認ができる者（志願者本人又は責任をもって返答のできる者）が対応してください。
(ウ) 本学から追加合格対象者として通知を受けても、既に他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）に入学手続をしている者は、これを取り消して本学に入学することはできません。
(エ) 最初の電話連絡から1時間以内に不在や入学意思の確認ができない場合は、追加合格とはしません。
(オ) 追加合格者の発表は行いません。また、追加合格通知についての問合せには一切応じません。
- (2) 欠員補充第2次募集
追加合格による欠員補充を行ってもなお入学定員に満たない場合、第2次募集を行うことがあります。その場合は、本学ホームページに詳細を掲載します。

選抜の個人成績開示

令和9年度の一般選抜前期日程及び後期日程については、受験者本人から申請があった場合に限り、当該受験者の個人成績を以下の方法で開示します。

1 開示内容

個人の得点及び総合得点

2 申請受付期間

令和9年5月1日（土）～5月31日（月）

※期間内の消印有効です。

3 申請者

受験者本人に限ります。（代理人による申請は認めません）

4 申請方法 ※郵送のみの申請となります。

本学あてに以下の書類等を郵送してください。（必ず受験者本人が申し込んでください）

- ① 申請書（申請期間前に本学ホームページに様式を掲載します）
- ② 長形3号サイズの返信用封筒（460円分の切手を貼り、受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記したもの）
- ③ 本学受験票の原本
※本学受験票を紛失した場合、成績開示の申請はできません。Web出願サイトからのダウンロード期限は令和9年3月末までとなるため、申請を希望する場合は保管をしてください。

5 開示方法

申請受付期間終了後に指定された住所へ簡易書留にて郵送します。

入学手続

1 入学手続

Web出願サイト



- (1) 合格者で、入学意思のある者は、入学手続期間内に必ず次の手続を完了してください。
 - (ア) 入学手続情報の入力
 - (イ) 入学料の納入
 - (ウ) 入学手続書類の提出（入学手続期間の最終日必着）※（ア）（イ）はWeb出願サイトへログインし、「入学手続」より行ってください。
- (2) 入学手続期間には土日祝日を含みます。郵送状況及び金融機関等の営業状況を確認の上、期日までに手続を完了してください。
- (3) 各入学手続期間内に手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとみなし、入学を許可しません。
- (4) ただし、学校推薦型選抜合格者は入学又は入学辞退のいずれの手続も行わないままとすることのないように留意してください。学校推薦型選抜合格者は、所定の入学辞退手続を行い、許可された場合を除き、他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）を受験しても合格者とはなりません。
- (5) 一旦提出された書類及び納入された入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (6) 入学手続に関する詳細は、Web出願サイトに掲載します。
- (7) 入学手続完了後も、入学時に学校教育法に定める大学入学資格を満たさない場合は、入学許可を取り消します。

2 入学手続締切

選抜区分ごとに、入学手続の締切日を定めています。各選抜区分の詳細で確認の上、締切日までに入学手続を行ってください。入学手続に必要な書類の提出は、入学手続期間の最終日必着です（郵送のみ受付）。

3 入学辞退

- (1) 入学手続完了者で、入学を辞退する場合は、必ず入試係まで連絡の上、入学辞退届を令和9年3月31日（水）までに到着するように提出してください。入学辞退届（本学所定の様式による）は本学ホームページからダウンロードすることができます。この場合、提出された書類及び納入された入学料の返還は行いません。なお、令和9年4月以降に入学辞退届を受領した場合、入学辞退者としては取り扱いませんので注意してください。
- (2) 学校推薦型選抜の合格者は、その趣旨から入学手続を行い入学することが当然ですが、特別な事情があり入学を辞退する場合は、必ず事前に入試係まで連絡の上、出身高等学校長から令和9年2月17日（水）までに必着で推薦入学辞退願（任意様式）を提出し、その許可を得なければなりません。この場合、提出された書類及び納入された入学料の返還は行いません。
※期日以降に推薦入学辞退届を受領した場合、他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）を受験しても合格者とはなりません。
- (3) 高等教育の修学支援新制度の予約採用者で、入学料納付猶予の申請を行い、入学手続を完了した者が入学を辞退する場合は、入学料の全額を納入していただく必要があります。

入学前教育

学校推薦型選抜合格者については、入学前教育を実施します。詳細については、改めて合格者にお知らせします。

初年度納入金

1 学納金

学納金は現時点で下表のとおりですが、今後改定される場合があります。詳細は入学手続案内に記載いたしますので、必ずご確認ください。

	入学料	授業料	実践教育実習費
入学手続時	282,000円	—	—
前学期分 (毎年5月末納入)	—	267,900円	20,000円
後学期分 (毎年10月末納入)	—	267,900円	20,000円

- ・授業料等（授業料、実践教育実習費）の納付方法は、口座振替方式としています。
- ・口座振替手続等の詳細については、入学手続の際にお知らせします。

2 諸経費（前年度実績）

上記学納金以外に学生教育研究災害傷害保険（4年間分4,660円）、教育後援会費（入会时会費40,000円）および学友会費（入会时会費20,000円）として64,660円を徴収します。

3 パソコンの購入について

両学部とも、個人所有のノートパソコンを使用しますので、入学までにご準備ください。スペック、モデルについての詳細は入学手続の際に案内します。

奨学金及び授業料減免制度

令和8年度実績のため内容は変更となる可能性があります。

1 福知山公立大学入学支援交付金（福知山市民のみ対象）

入学者又は本人の配偶者もしくは本人の一親等の尊属が、入学の日の1年前から引き続き福知山市に住所を有する方は、入学料の1/3相当額（94,000円）を還付します。ただし、「高等教育の修学支援新制度」で授業料・入学料の減免を受ける場合は該当となりません。なお本制度は、対象期間に福知山市に住所を有していた証明書（住民票等）の提出が必要となります。

※本制度は福知山市の議決を経て決定するものであり、内容は予告なく変更する場合があります。

2 高等教育の修学支援新制度による学納金の減免及び猶予について

本学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象機関として認定を受けています。家計の経済状況や学業成績・学修意欲等の基準を満たす学生は、原則、日本学生支援機構（JASSO）給付奨学金と本学の入学料・授業料減免を合わせて受けることができます。また、扶養する子どもが3人以上の多子世帯については、家計基準を問わず授業料が無償化されます。高等学校等で日本学生支援機構の予約採用申込みを行い採用候補者となった方以外に、本学入学後に申込みできる在学採用の機会を設けています。

高等学校等で日本学生支援機構の給付奨学金予約採用手続きを行い、採用候補者となった方については、所定の手続により、入学料を減免し、その納入期間を入学後まで猶予します。また、授業料についても同様に減免及び猶予します。給付奨学金予約採用手続きを行っていない場合でも、入学後に申込みを行い給付奨学生となった場合は、同様の措置を行います（入学料は還付）。詳細は入学手続の際に案内します。

3 日本学生支援機構（JASSO）による奨学金制度

経済的理由で修学が困難な優れた学生が安心して学ぶことができるように、経済・社会情勢等を踏まえ、「給付」又は「貸与」される制度です。本学入学後の申込みの時期は、春と秋の年2回を予定しています。

4 株式会社大福機工商会奨学金（入学前給付奨学金）

株式会社大福機工商会様の寄付金を財源として、学校推薦型選抜地域枠で入学する学生に対し、大学進学のための支度金として入学前に給付します（自宅生100,000円／自宅外生200,000円）。

申請資格は以下の①～③をすべて満たす者

①学校推薦型選抜 地域枠の合格者で入学手続を行った者

②成績・人物ともに優秀である者

③日本学生支援機構給付奨学金の採用候補予定者（予約採用で申込みをした者に限る。）

5 その他の奨学金

福知山公立大学学生修学支援貸付金及び各地方自治体や団体が行う奨学金があります。募集があった場合は、入学後に在学生向けポータルサイト等で随時お知らせします。

奨学金及び授業料減免制度



よくある質問

1 過去問題について

Q 過去問題を見ることはできますか？

A 本学で実施した試験問題はホームページで一部公開しています。また、前年度の試験問題の一部を本要項の25・26ページ（地域経営学部）、40・41ページ（情報学部）に掲載しています。

2 出願について

Q 出願期間は締切日の必着ですか、消印有効ですか？

A 締切日の消印有効です。

3 Web 出願サイトについて

Q スマートフォンやタブレットで利用ができますか？

A 利用できます。

Q 選抜区分、志望学部、第一希望試験会場を間違えました。どうしたらよいですか？

A 入学検定料の納入前は、新たに出願内容の登録をしてください。
入学検定料の納入後に間違いが判明した場合は、修正できません。入試係まで電話連絡をしてください。
なお、出願書類郵送後の変更は一切できません。

Q 名前や住所等の間違いに気づきました。どうしたらよいですか？

A 入学検定料の納入前は、新たに出願内容の登録をしてください。
入学検定料の納入後に間違いが判明した場合は、入試係（admission@fukuchiyama.ac.jp）までメールにて連絡してください。
※メールの件名（タイトル）は「出願登録内容の修正について」としてください。

4 受験票について

Q 本学受験票はいつ頃からダウンロードできますか？

A 概ね出願期間終了後1週間程度でダウンロードできるようになる予定です。ダウンロード可能な状態となったら、Web出願サイトに登録したメールアドレス宛に通知を行います。

5 試験当日について

Q 試験会場の開場時間は何時ですか？

A 入室可能時間と同時刻です。

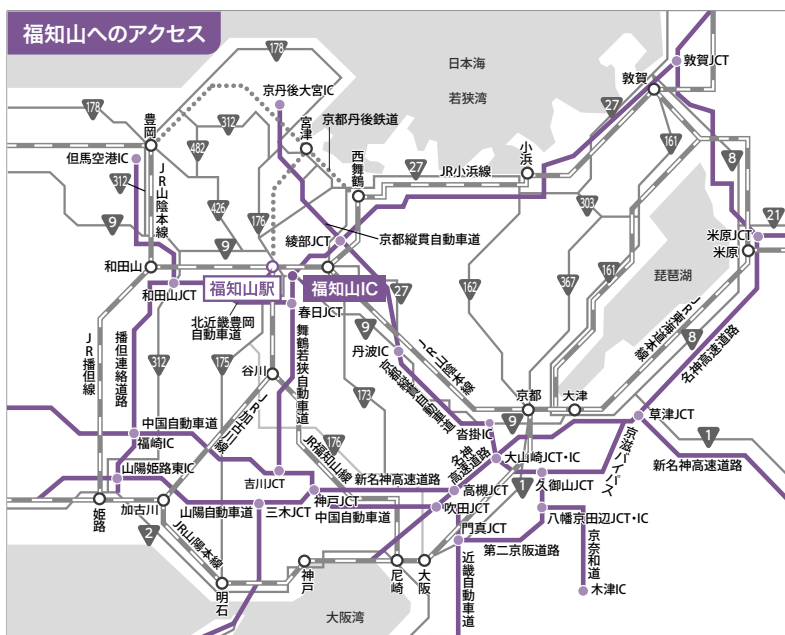
Q 試験の終了時間は何時ごろになりますか？

A 各選抜区分の試験時間割を確認してください。面接試験がある選抜区分については、試験当日に各受験者の面接開始時間等を配付予定です。

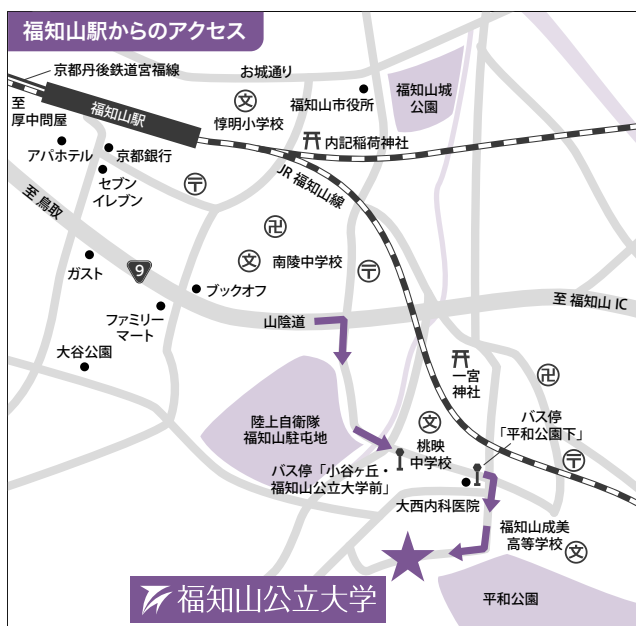
Q 試験を欠席する場合はどうしたらよいですか？

A 自己都合による欠席の場合、連絡は不要です。

アクセス



- JR京都駅→福知山駅 最短75分
- JR大阪駅→福知山駅 最短91分
- 大阪なんば→福知山駅 107分(高速バス)
- 神戸三宮→福知山駅 90分(高速バス)



- 福知山駅北口より京都交通バス堀循環線にて「平和公園下」または「小谷ヶ丘・福知山公立大学前」下車、徒歩6分。
- 福知山駅南口よりタクシーにて5分。
- 徒歩にて30分。

SNS

各種SNSで、福知山公立大の「今」を発信中!



福知山公立大学 入試係

〒620-0886 京都府福知山市字堀3370 TEL 0773-24-7100 FAX 0773-24-7170

E-mail admission@fukuchiyama.ac.jp URL <https://www.fukuchiyama.ac.jp/>

※試験日当日の電話番号は11ページをご覧ください。

